

42889

教科書文庫

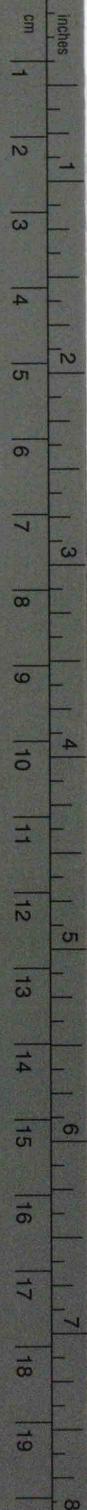
4
290
42-1941
20000
21676

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

C Y M

© Kodak, 2007 TM: Kodak



Kodak Color Control Patches

Blue

Cyan

Green

Yellow

Red

Magenta

White

3/Color

Black



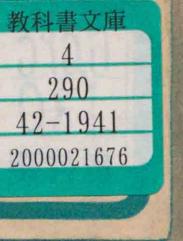
說概地理制

用校學女

著治琢川小士博學理



社會式株書科教校學等中



3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

資料室

375.9
0g1

文部省検定

昭和六十一年二月九日高等女學校地理科

教科書文庫
4
290
42-1941
2000021676

新制地理概說

女學校用

理學博士 小川琢治 著

中等學校教科書式會社

広島大学図書

2000021676





(頭埠津天) 運水の河白

と主は船邦。るみてつよに船汽の支・英・日、てしと主は路航岸沿の那支。
るみてし躍活にい・大に路航岸沿び及江子揚・河白、で船社會船汽清日てし

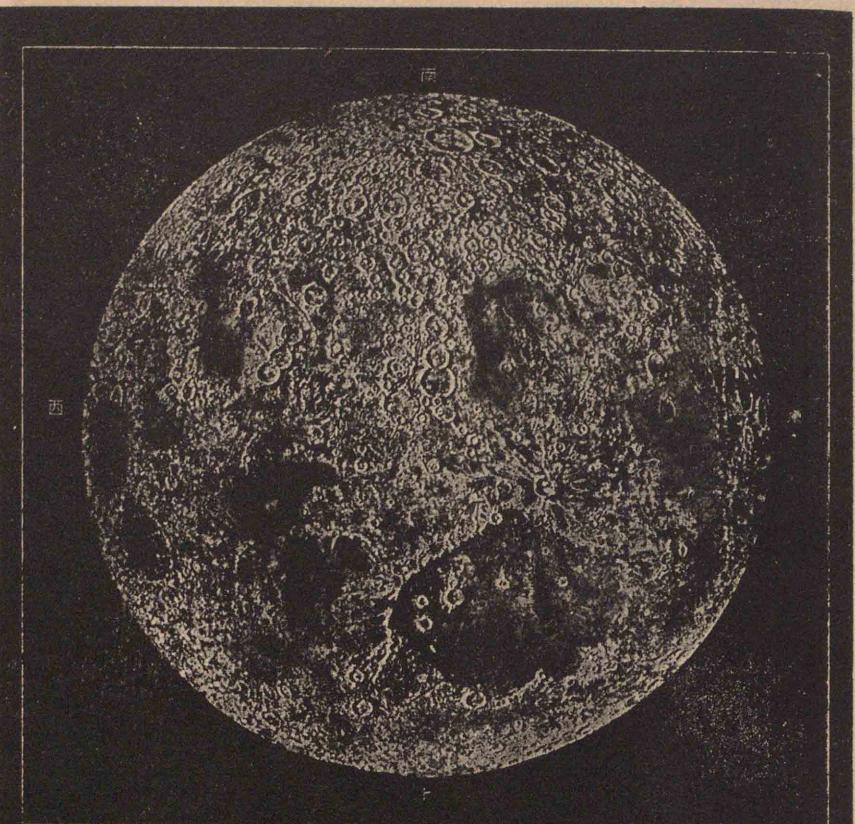


峡海スラボスボ境の亞・歐

ル側ヤジアのルブンタスイは眞寫。米〇〇七約で分部い狭の幅も最の峡海
。望眺のらか塔ルサツヒニリメ

廣島大學圖書之印

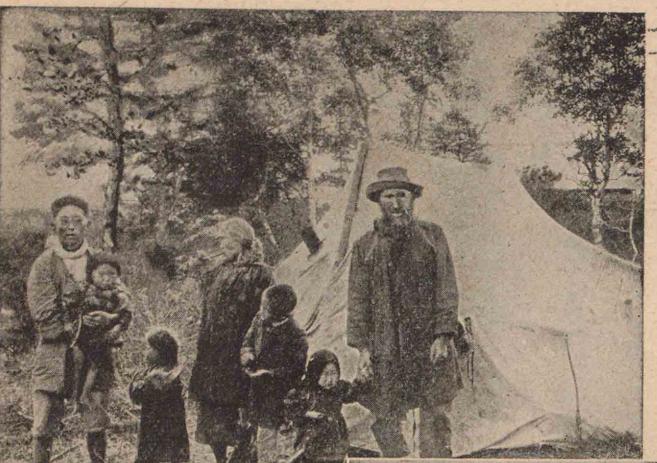




月の表面とその一部

月は地球の唯一の衛星で、直徑は約その四分之一である。表面には水も空氣もなく、火山が極めて多い。圖中の黒の部分は海と稱せられてゐるが、水はない。左圖は火山プラトの噴火口で、直徑約五十六秆に達する。云々

寫眞の性質上、上下左右が轉倒してゐる。



① 樺太のオロツコ族
② 北海道のアイヌ族



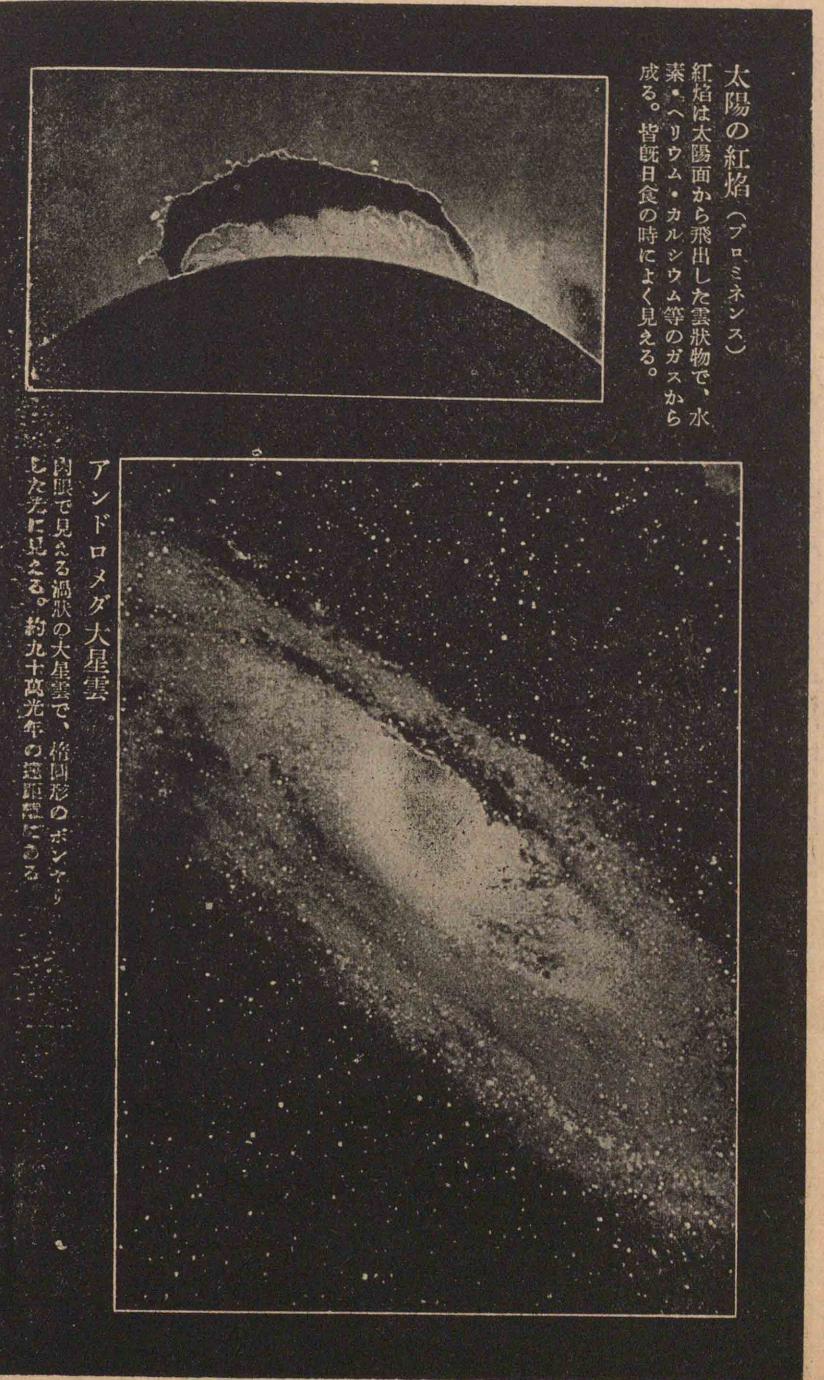
③ 伊豆大島風俗
④ 琉球婦人の水汲み



②



④



太陽の紅焰（プロミネンス）

紅焰は太陽面から飛出した雲状物で、水素・ヘリウム・カルシウム等のガスから成る。皆毎日食の時によく見える。

圖は彦根町の西南方である。湖畔の沃野に發達した農村で、人家の密集した聚落即ち「聚村」である。近畿地方の平野にはかやうな村落が多い。

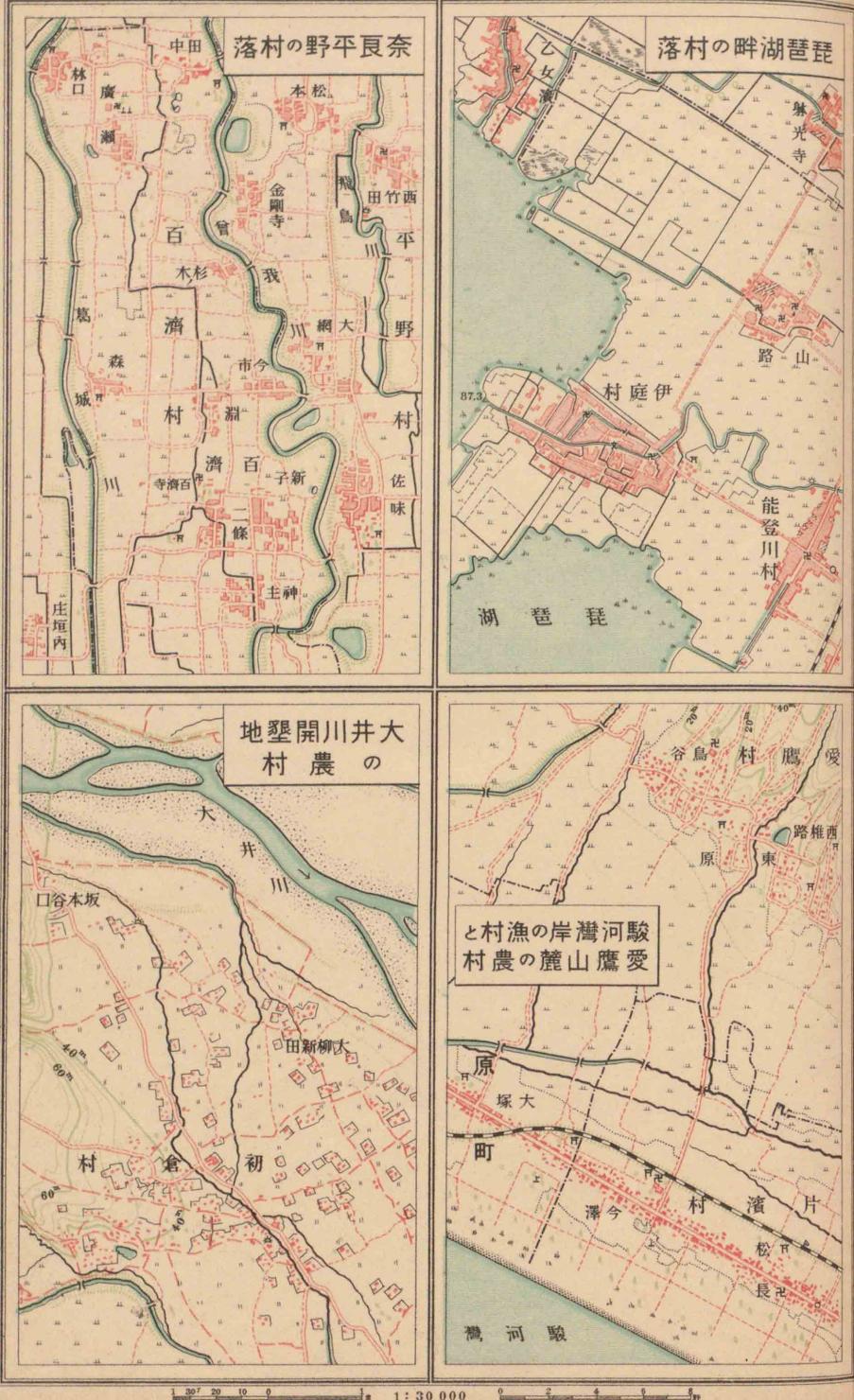
もある。

圖は奈良平野の西部で、道路の多くは東西・南北に走り、村落の配置の規則正しいのは、奈良時代に支那の制に倣ひ、條里を劃したからである。村落は聚落であつて、中には村の周囲に濠を繞らしたものもある。

圖は沼津市の西方にある聚落で、一は東海道に沿うて人家の集つた聚落即ち「街村」であり、一は愛鷹山麓の農村の人家の點在した「散村」である。



式形の村落本邦



さて、中古の村の類型は既に述べたが、
國はこれを下する。其者を察察する
の如きは、外は貴賤の時、最も多く
西と北の支流の河谷の堤防の堤頭より
國の着易い所の西側を眞相である。
國の着易い所の西側を眞相である。

ある。東國の村は、大半が
水をさへて、又は山麓の農村の人々の
生活の武を、入るの集めて、その
國の鶴井市の西側にある、延長す。

① バンコクの水上街

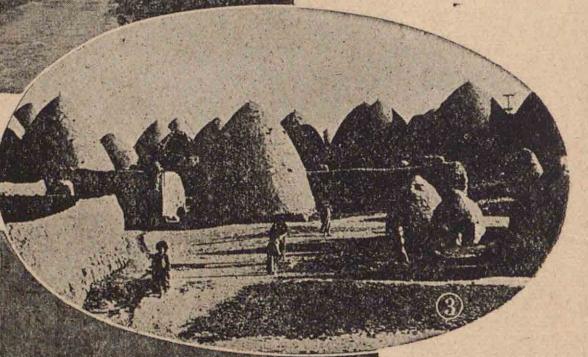


①

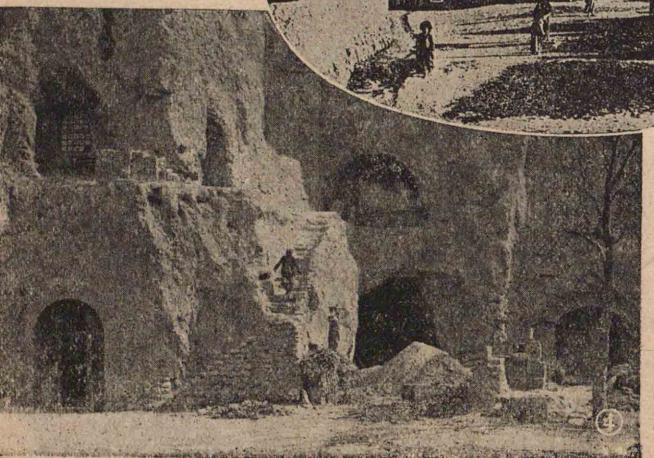


②

③ シリヤの
土人部落
(アレッボ)

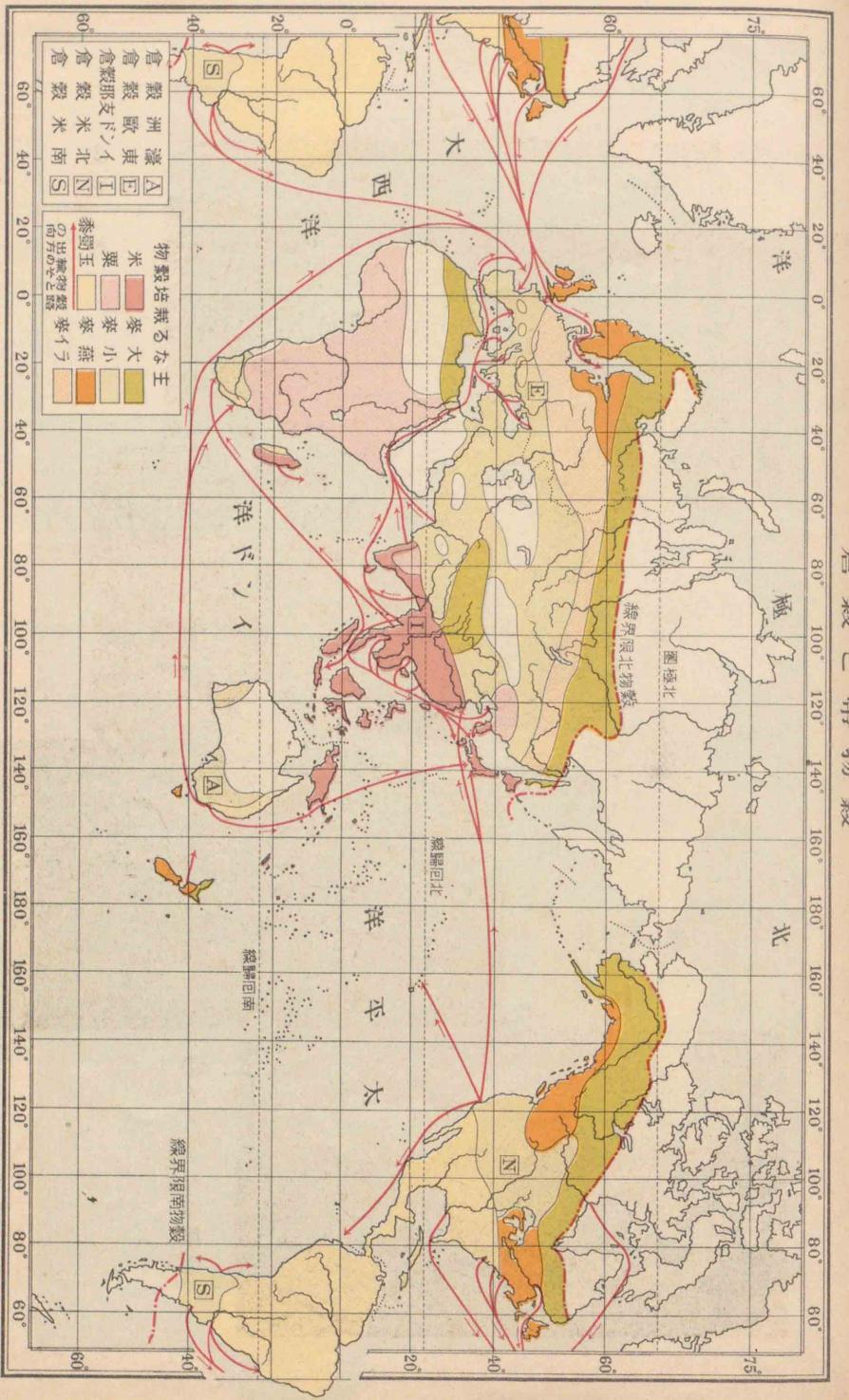


③

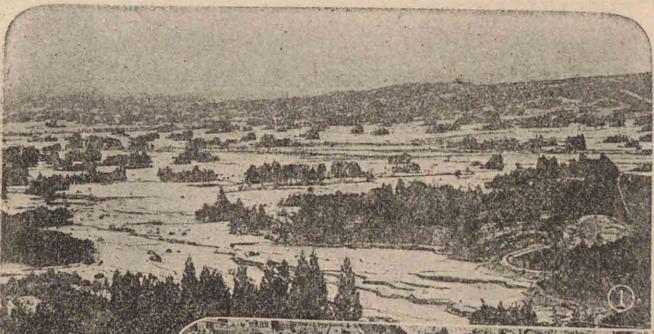


④ 黄土地方の穴居生活
(支那)

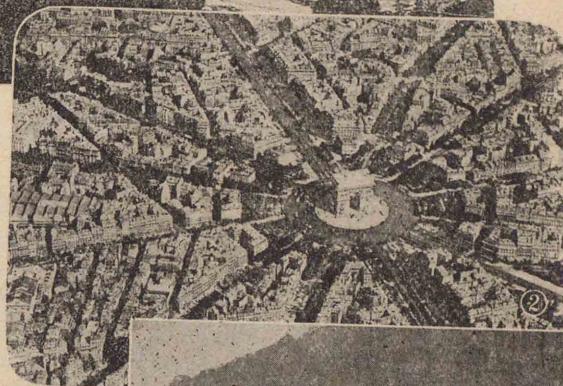
④



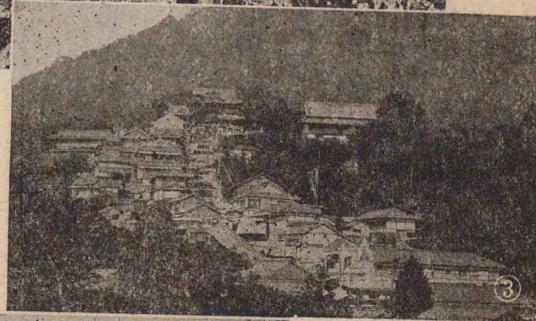
① 散 材



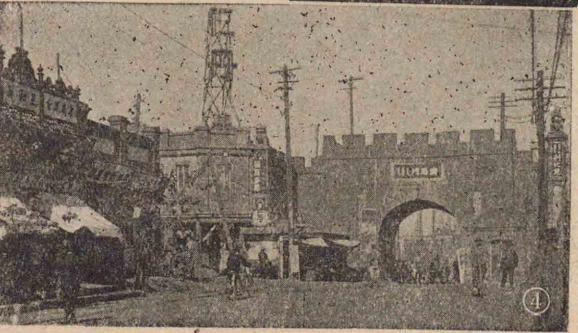
② 放斜状式の市街
(ハノイ)

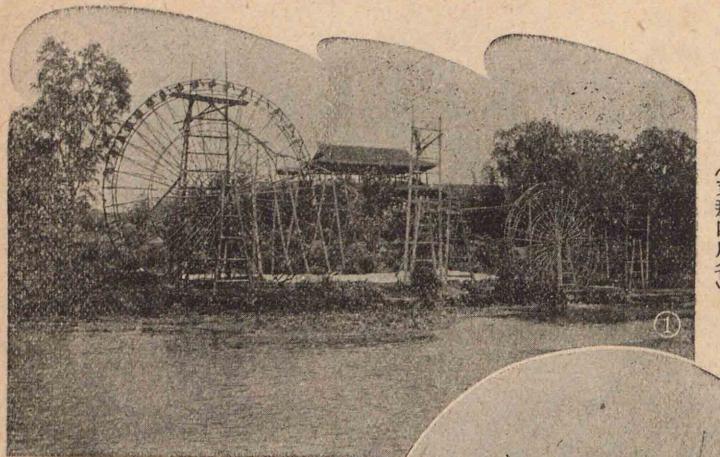


③ 門前町
(群 平)



④ チチハルの城門

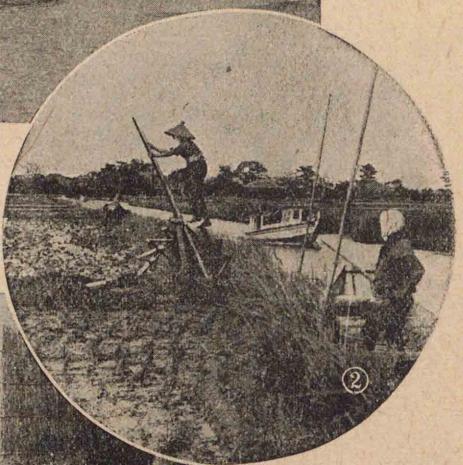




①

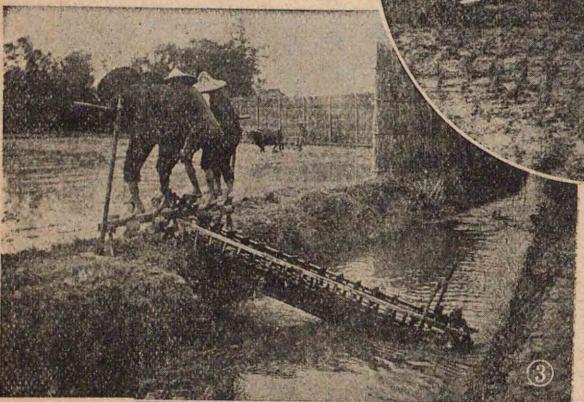
水車による灌漑

(支那四川省)



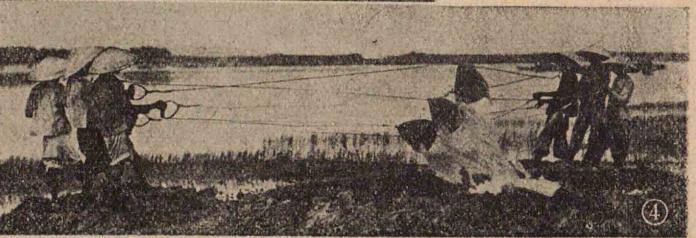
②

灌漑るよに車踏 ②
(流下川根利)



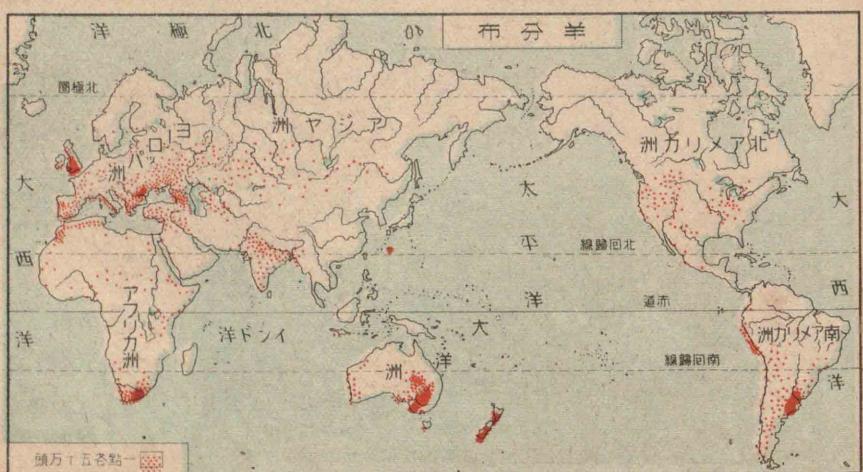
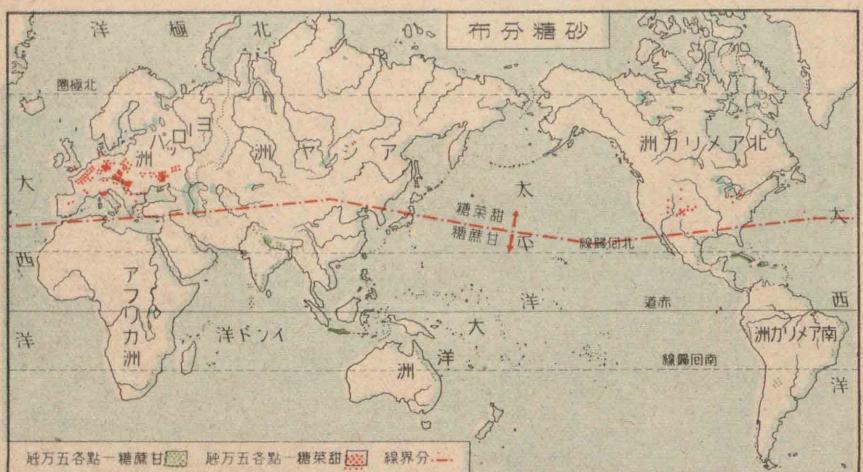
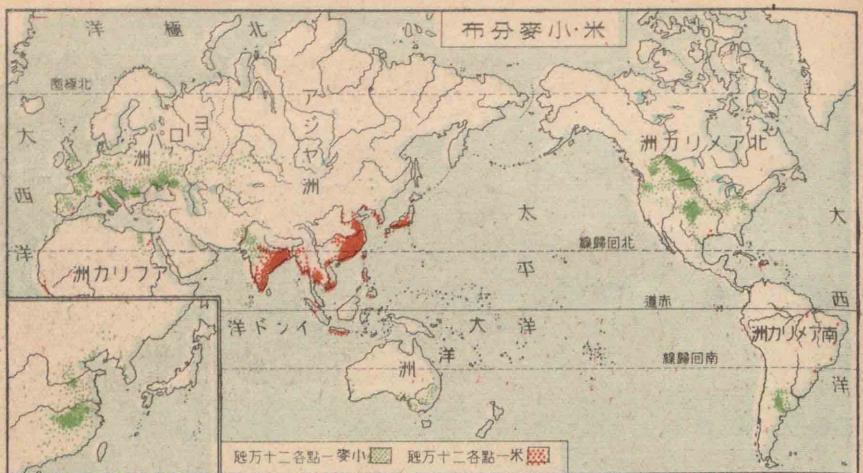
③

④ 竹桶による灌漑
(インド支那)



④

世界小麦・米・砂糖・羊毛分布図

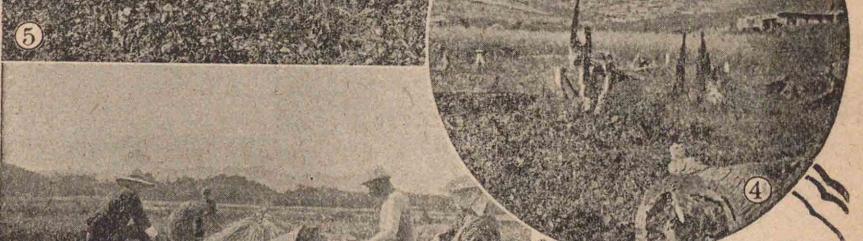
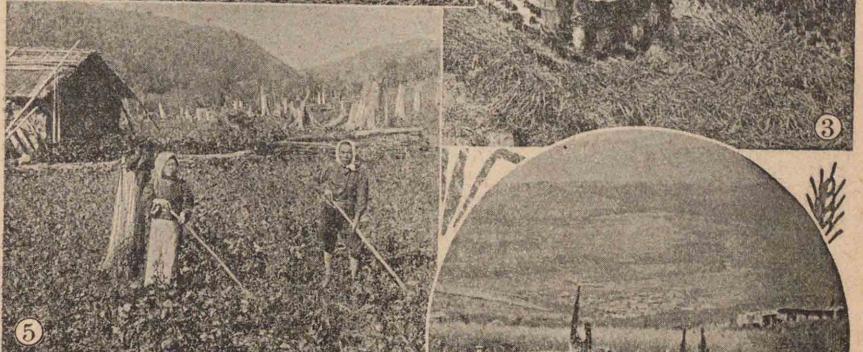


③

② 高粱の脱穀
(滿洲國)

①

大農法
(北海道)

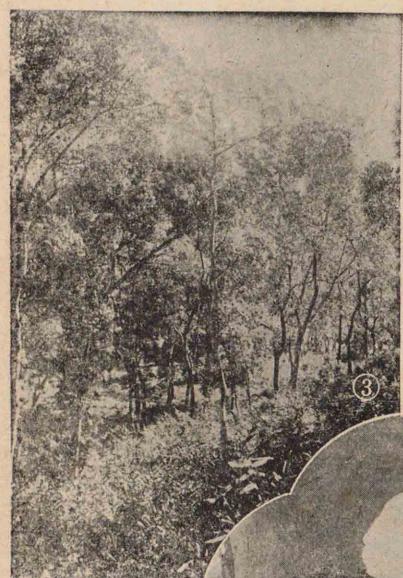


(鮮朝北) 田火 ④
(道海北) 墾開 ⑤

るよに機轉輪 ⑥
(地内) 穀穀脱の穀



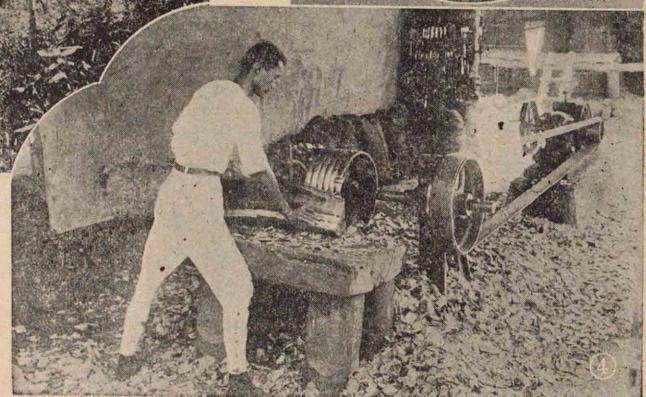
羊牧の寒月道海北①



木曾の檜の元伐り作業



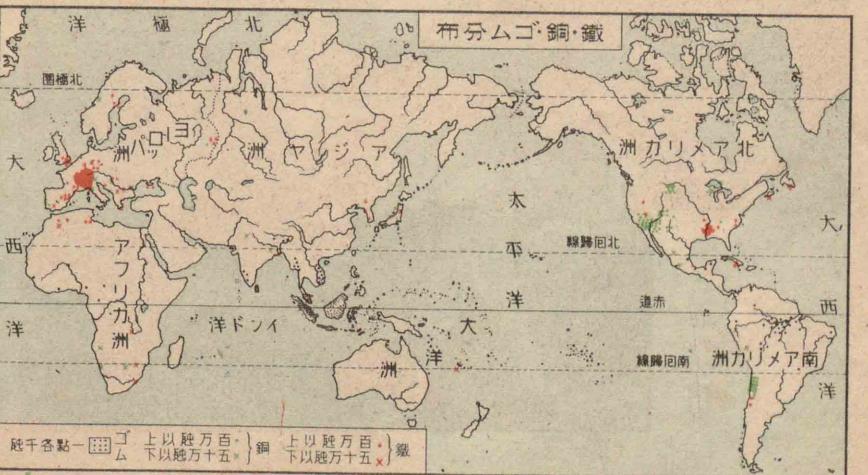
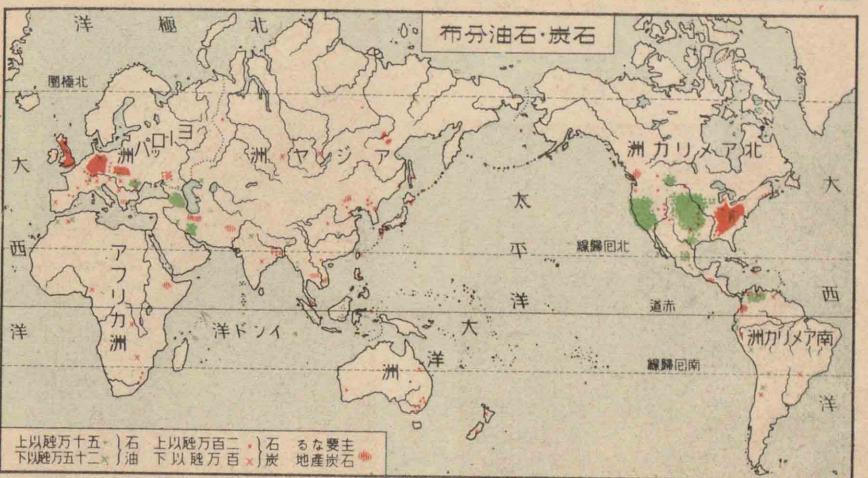
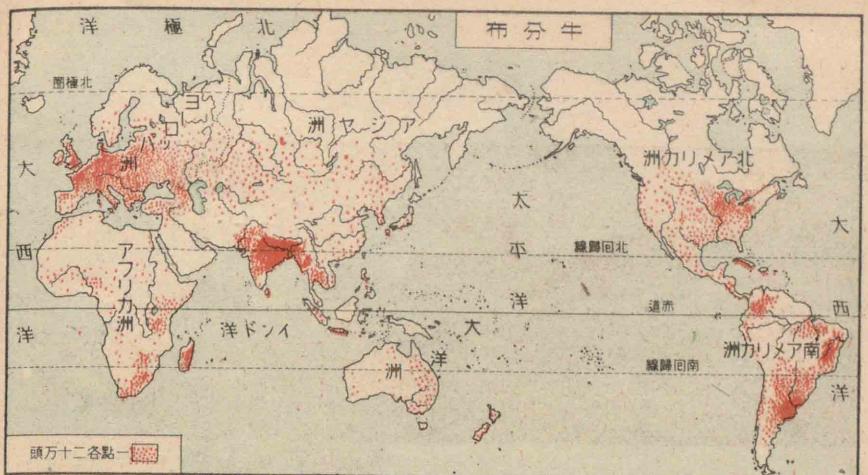
②

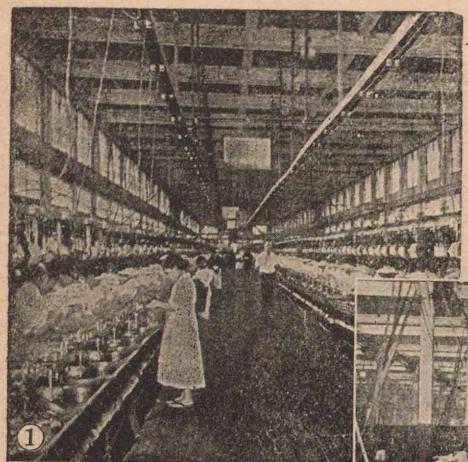


④

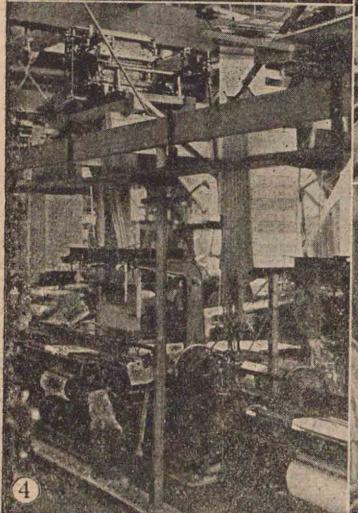
製腦原料の採取

■ 布分ムゴ・銅・鐵・油石・炭石・牛界世

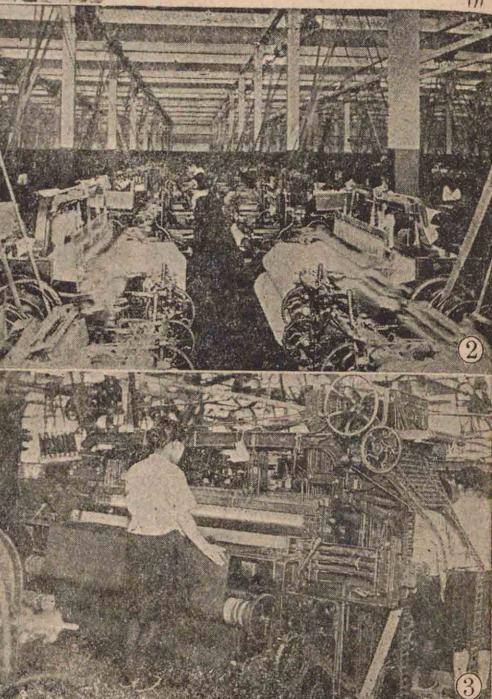




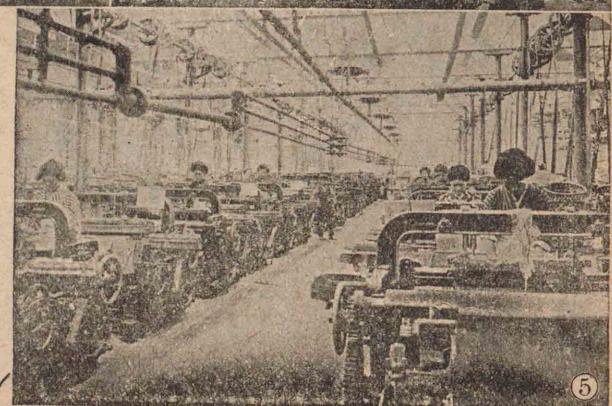
① 製絲工場
(豊橋市)
② 織布工場
(愛知縣刈谷)
③ 毛織物工場
(名古屋市)



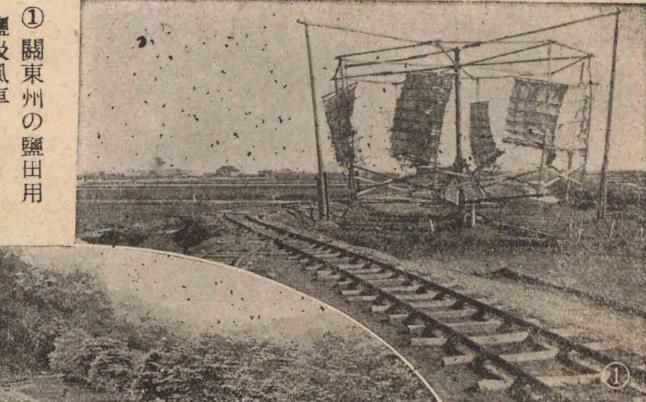
④ 絹織物工場
(福井市)
⑤ 麻織物工場
(北澤道)



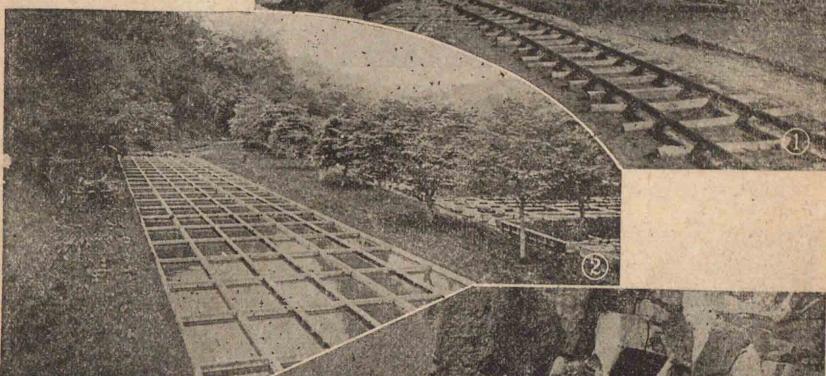
⑤



⑤



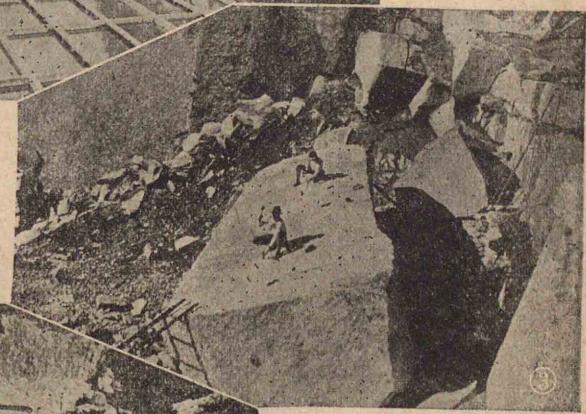
① 關東州の鹽田用
鹽汲風車



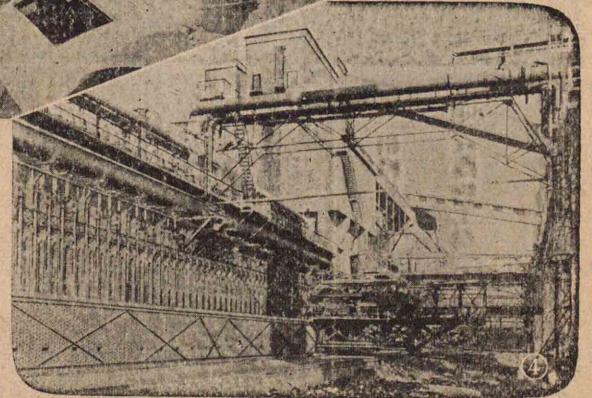
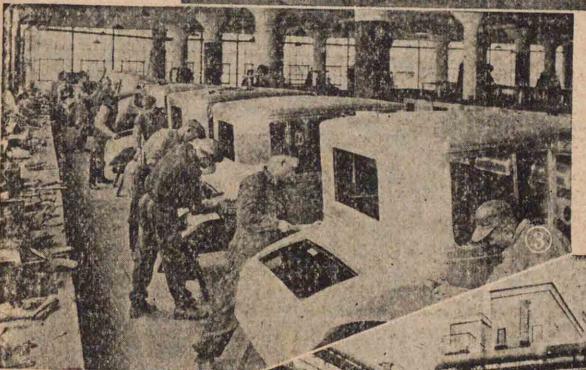
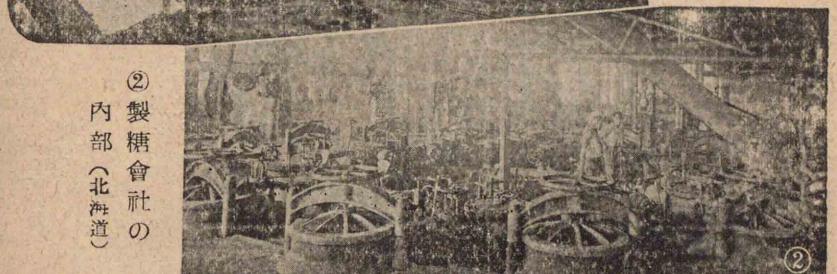
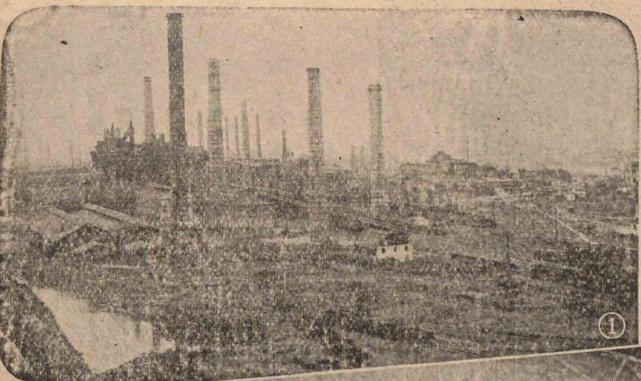
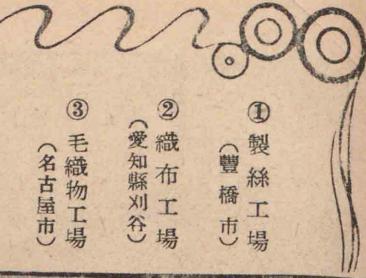
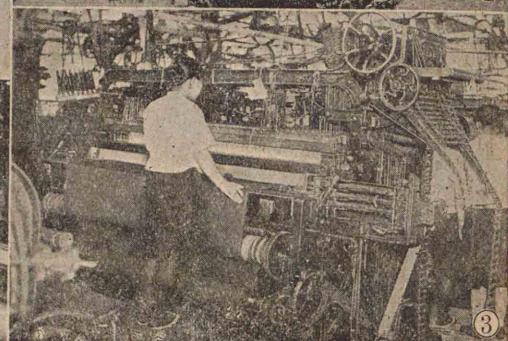
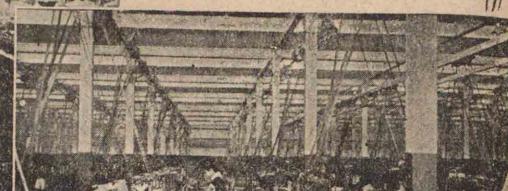
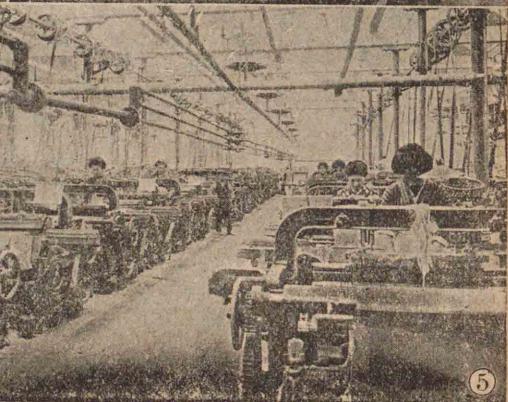
の鱗の道海北②
場化瞬



③ 石切場
(茨城縣)
④ 燐礦の採取
(アンガウル島)



③ 石切場
(茨城縣)
④ 燐礦の採取
(アンガウル島)

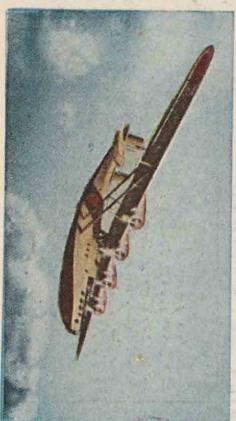
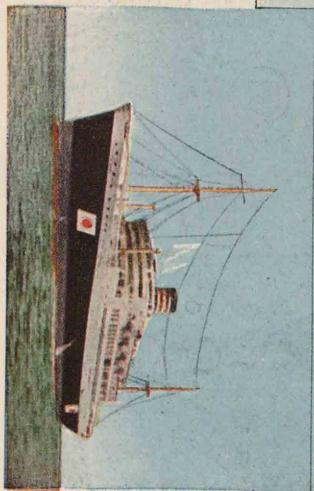


① 漢陽鐵廠
(支那)

③ 自動車工場
(アメリカ、フォード會社)

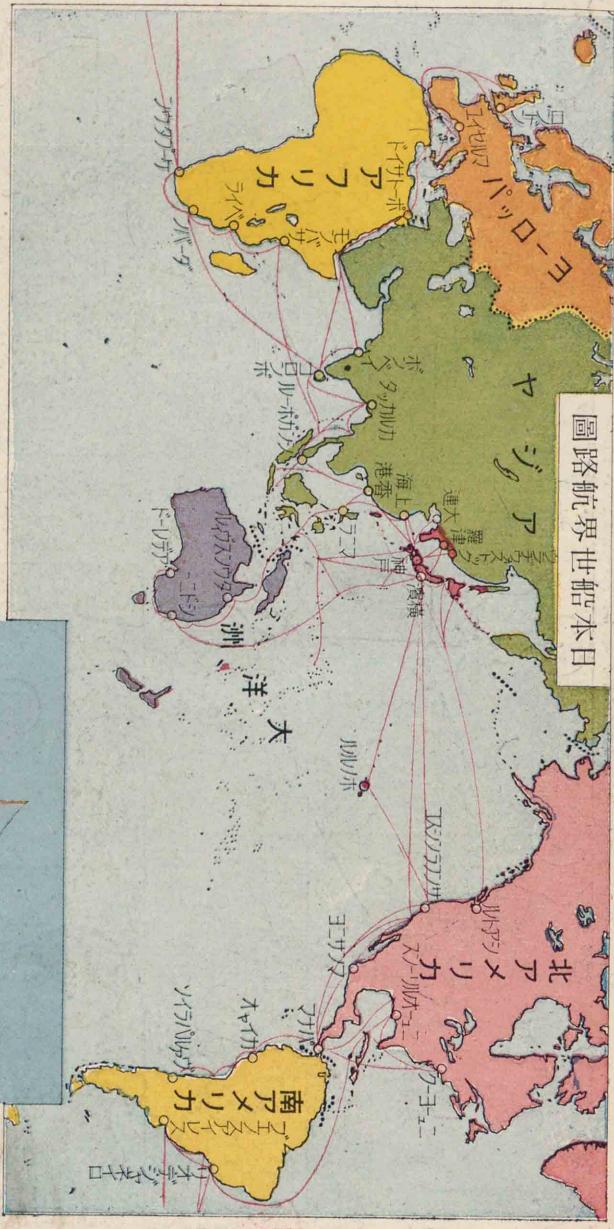
④ 製鐵所
(ドイツ、エッセン)

日本郵船
新田丸



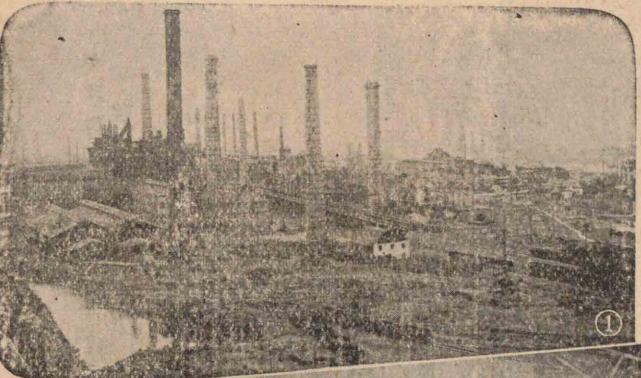
南洋定期航空
號

黑潮



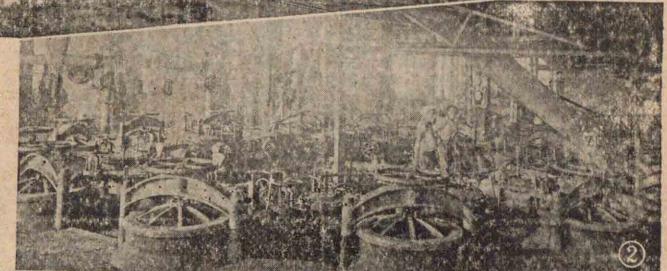
世界船舶航路圖

① 漢陽鐵廠 (支那)



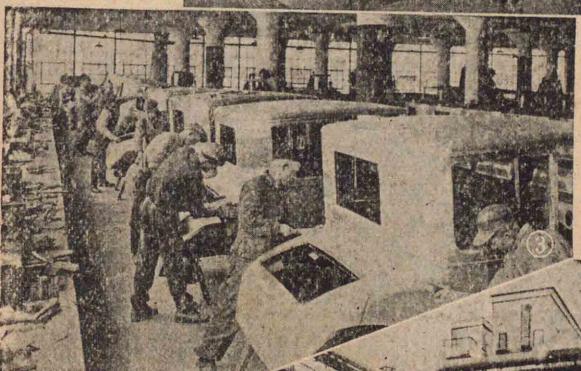
① 漢陽鐵廠 (支那)

② 製糖會社の
内部 (北海道)



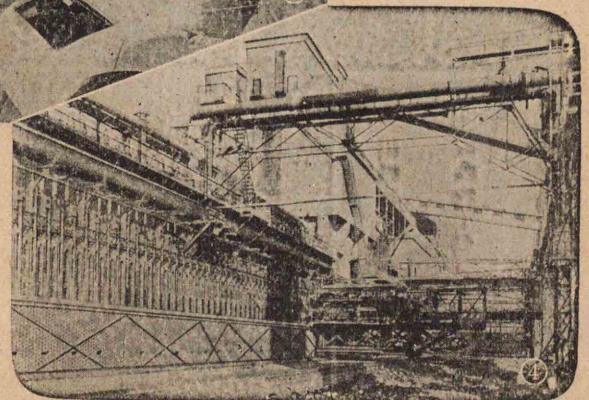
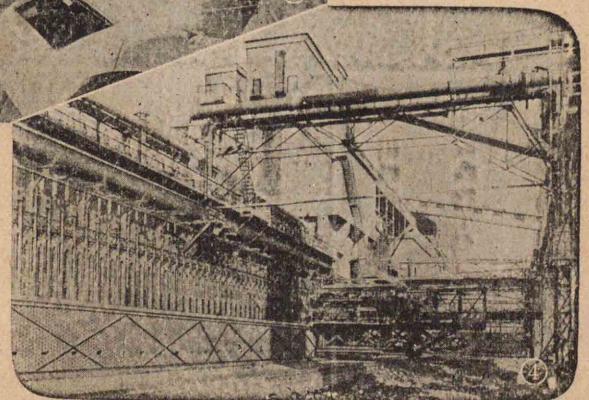
③ 自動車工場

(アメリカ、オーストリア、
ム会社)



③ 自動車工場
(アメリカ、オーストリア、
ム会社)

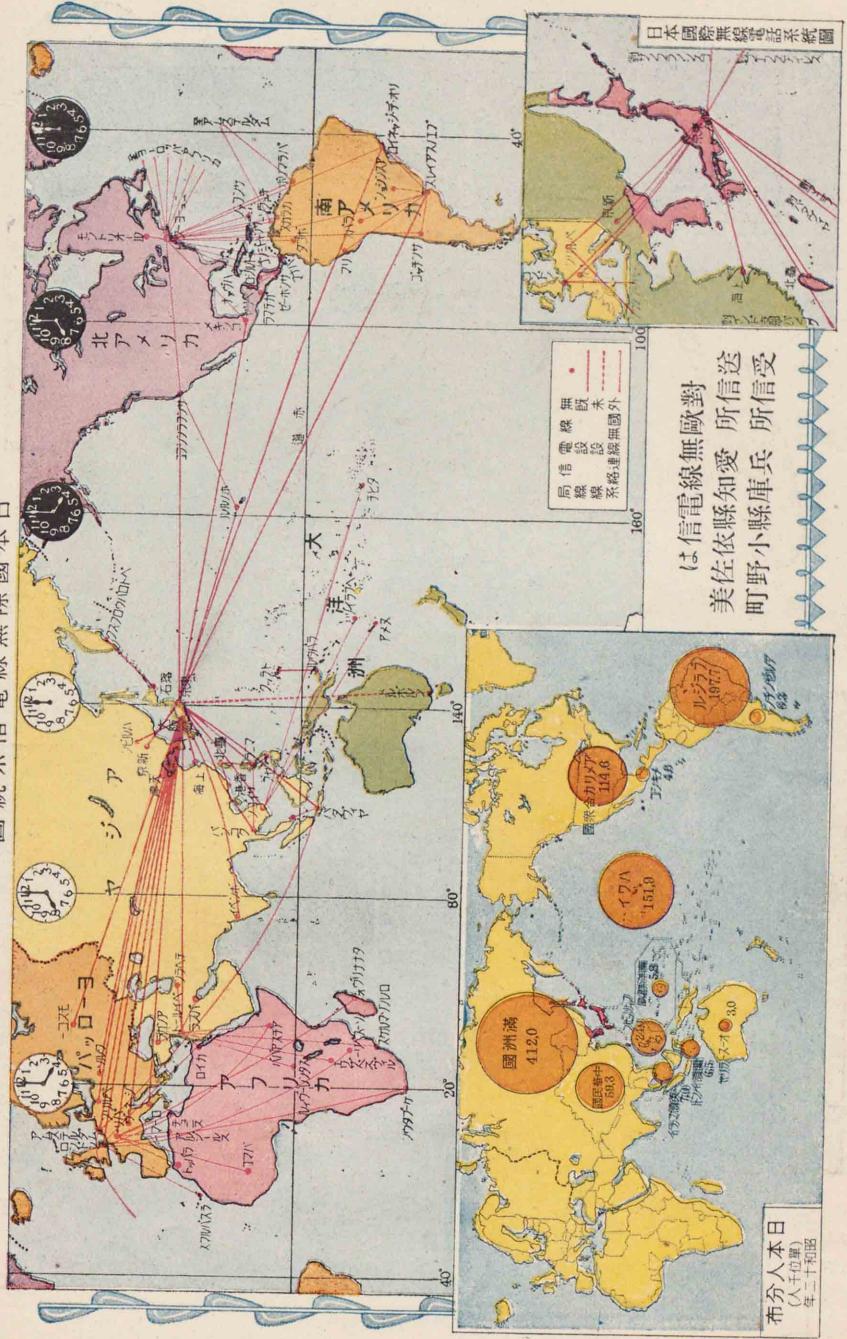
④ 製鐵所
(ヒュイット、エッセン)



緒 言

本書は改正新教授要目に準據し、高等女學校用の地理教科書として編纂したものであつて、これが編纂にあたり特に留意した諸點は、大要次の如くである。

- 一 記載は、努めて日本を主體とし、一般地理教授の結論となるやうにしたこと。
- 二 自然と人類生活の状態その兩者の相互關係から、世界各地に於ける文化の發達に至るまでの理解に資せんとしたこと。
- 三 我が國と密接な關係にある諸外國との比較によつて、我が國の國勢、我が國の世界に於ける地位を明かにし、國民的自覺の換起に資せんとしたこと。
- 四 各地住民の生活形式等の女子に特に必要な事項をも加へたこと。
- 五 行文は簡明・平易を旨とし、上欄に本文中の重要事項を解説し、章末に自修問題を添附し、生徒の自學自習に便にしたこと。
- 六 統計・地圖・繪畫の類は可及的斬新にして特色あり、且つ利用度の高いものを多數挿入して直觀教授に利せんとしたこと。



以上は本書の最も著しい特徴を列挙したのであるが、まだ理想を十分に實現し得ない憾が少くない。よつて今後これが完璧を期し、教官諸彦の一層の御援助を仰ぎ度いと思つてゐる。

昭和十二年七月

著者識す

目 次

第一章 地 球	一 頁
第二章 陸 地	五
第三章 海 洋	六
第四章 気 候	三
第五章 住 民	二
第六章 産 業(その一)	一〇
第七章 産 業(その二)	一四
第八章 交 通	一七
第九章 政 治	一九
第十章 世 界に於ける我が國の地位	全

挿入地圖

日本近海深度圖(表)	六一七
世界の陸高と海深圖(裏)	
地方天氣豫報・氣象特報及暴風警報信號標(表)	
天氣圖(裏)	六一元
人種分布・宗教分布・人口密度圖(表)	三〇一三
言語分布・生業分布・主要交通機關分布圖(裏)	
本邦村落の形式	
穀物帶と穀倉	
世界米小麥・砂糖・洋分布圖(表)	三一毛
世界牛・石炭・石油・鐵・銅・ゴム分布圖(裏)	四一望
世界米小麥・砂糖・洋分布圖(裏)	四一九

新制地理概說 女學校用

第一章 地球

地球の大きさ

極半徑 六、三七七
赤道半徑 六、三七七
赤道全周四〇七〇七
面積 五、〇八三
體積 五、〇八三

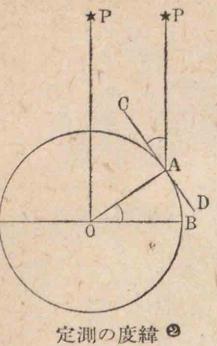
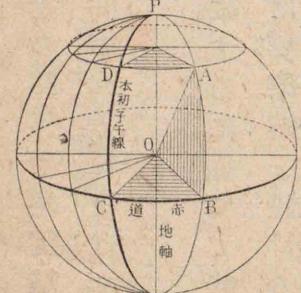
① 角 COB は經度。角 AOB は經緯度。
② P は北極星、O は地平上の一
点、CA は赤道、CB は赤極、
AOB は等緯度。

地球の運動 吾々人類の生活するこの地球は、銀河系宇宙に屬する一天體で、常に西から東へ自轉しつつ太陽の周圍を公轉してゐるが、その自轉の軸が公轉の軌道面に對して六十六度半の傾きをなし、且つほぼ一定の方向を指すので、ここに晝夜の長短と四季の變化とを生じ、これがために人類がその生活を支配されて種々の習慣を作つてゐる。

地球の形とその表面

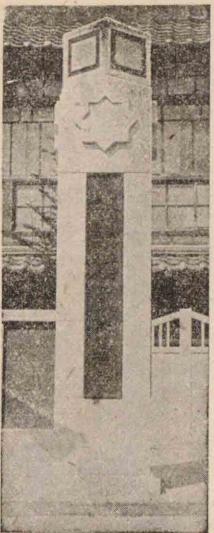
地球は周圍約四萬杆の球體であるが、完全な球體ではなくて、南北に稍扁平な橢圓體で

度緯・經と線緯線・經



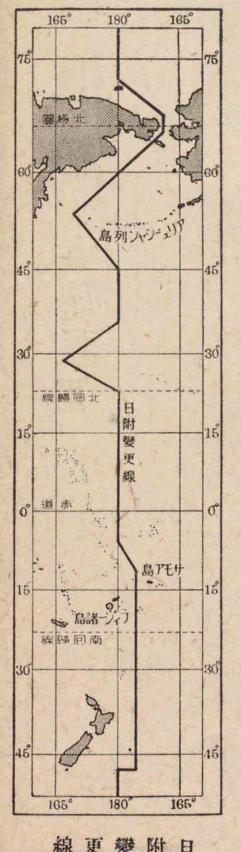


域區用使と時準標の國が我



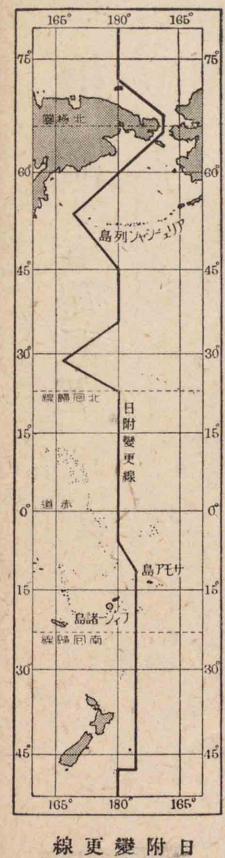
古來日本や支那では日本を二十支那で辰にはこられた。十支那で示された。

一度度十五度毎に一時間の時差がある。あるが南洋群島一經度が一五〇度である。三標準三度。

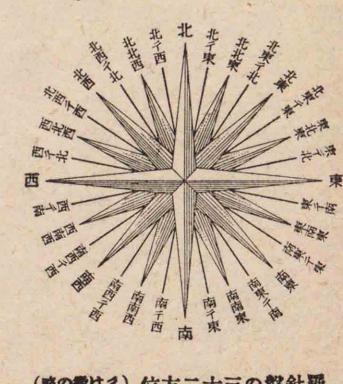


ある。その地表上に於ける位置の關係は經度緯度を異にするから、各地方時の間に標準時を設ける必要がある。我が國の標準時は東經百三十五度の地方時によつてゐるので、イギリスのグリニーチ時よりも九時間早い。

又地方時は東から西へ行くほど遅れるので大約百八十度の子午線を日附變更線と定め、これを西へ越える時一日を重ねて數



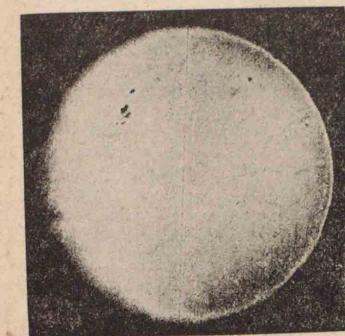
へることにしてゐる。
方位は東西南北を基礎として、八方位・十六方位等にも分けるが、北もしくは南から數へて、北何度東、南何度西などと呼ぶ。方位を定めるには通常磁石を用ひるが、これには偏差を考へねばならぬ。

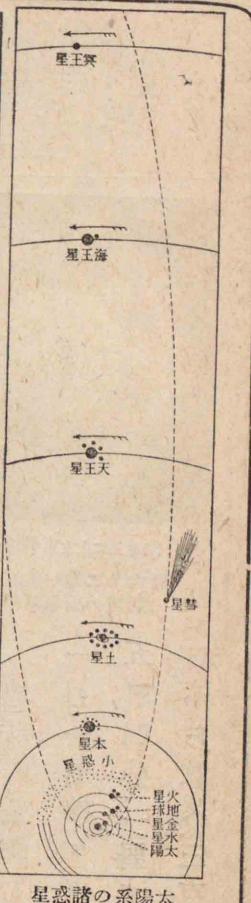


地球と太陽 太陽は地球上のあらゆる生命の本源となつてゐる。その黒點の増減だけでも、よく地球の地磁氣や氣候に影響を與へる。

地球が公轉して、太陽に最も近づくのが一月一日頃で、その公轉の週期が三百六十五日四分の一弱であるから、太陽暦は一月一日から算へ、三百六十五日を以て平年とし、

(右見に上左) 點黒の陽太
日六十二月一年五十正大
影撮の臺象氣洋海戸神

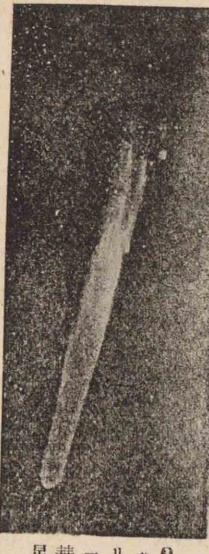




四年毎に閏年を置き四百年間に特に三回の閏年を省く。

地球と太陽系

太陽の



星彗一リハヨ

周囲には我が地球の外に、水星・金星・火星・木星・土星等の大小の惑星があつて、大惑星は衛星を從へ、これ等がすべて一定の形式で太陽の周囲を廻轉し、我が地球と共に一太陽系を形成してゐる。

地球と星

太陽系にはなほ多くの彗星や流星がある。

はと干による羅星の分り、星の羅星も中片流し近い。星の羅星も中片流し近い。

成してゐる。太陽系にはなほ多くの彗星や流星がある。

衛星で、その表面には水も空氣もない。ただ無數に火山のやうな凹凸があるだけであるが、太陽の光を反射して美しく輝いて見え、それ

が約二十九日

十二時四十四

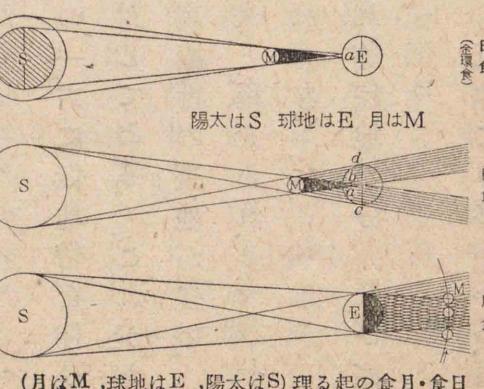
題問修自
1. 地方時とは何か。又標準時を定める
所以如何。

2. 日附變更線とは何か。

に位上れかる星北座斗。星均の大きさは約一月の三分の一。星の三、約一千五百萬公里に萬九十九地。

分餘で盈虛するから、これにより太陰曆が考へられた。

あの今も未開の人類から甚だしく怖れられてゐる日食月食は、月が太陽及び地球と一直線上に來た時に起る現象で、それが新月の時ならば日食が起り、満月の時ならば月食が起る。



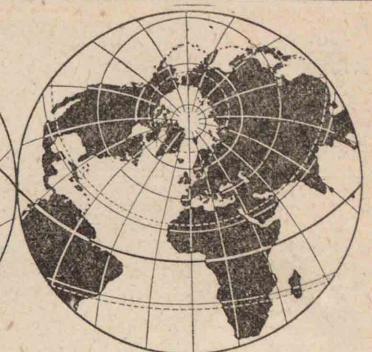
第二章 陸地

陸地は吾々人類の生活の本據

す。島面六千九百・積大洲の島に島比中、その最も大きい島は日本、その次に大きい島は中国、その次に大きい島は印度、その次に大きい島はアラビア、その次に大きい島はアフリカ、その次に大きい島は南米、その次に大きい島は北米、その次に大きい島はオーストラリア、その次に大きい島はニュージーランド、その次に大きい島は南極洲、その次に大きい島は北極洲。

陸地の分布 陸地は吾々人類の生活の本據であるが、これが地球上に於ける分布は北半球に多く、その大陸は概ね北に展がつて南に尖り、

且つ兩極地方を除けば何れの大陸もその東南に多少の島嶼を控へてゐる。陸地の總面積は約一億四千八百餘萬方杆で、地球表面積の三割弱に當る。



陸地の高低

世界的大山脈は多く大陸の邊縁に偏つて存し、特に歐亞大陸の南部と太平洋岸一帶の沿岸とに著しい。



高地

これ等の大山嶽地帶は、概ねその一方に低地帯を伴ひ、これを隔てて高原性の臺地と相對してゐる。これがたゞに大西洋・インド洋の沿岸には高原性の臺地が多い。世界陸地の高度は、平均八七五米と稱せられ、ヒマラヤの海拔にはその十倍に餘るものがある。

人口の粗密、文化の發達等は、これ等陸地の分布及び高低に關係するところが多い。



(上) 富山県宇奈月温泉と(下) シリジーダ

森林が茂り水源を養ふ。中には温泉や礦山があつて、小都邑の發達を促すこともあるが、多くは交通を妨げ、人煙が稀である。

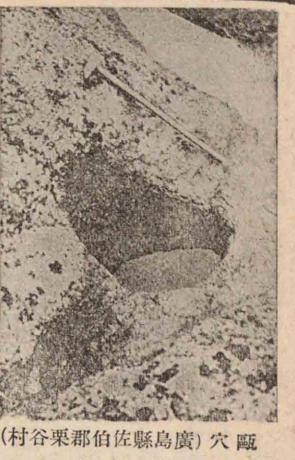
熱帶地方では氣候の關係で却つて山地に文化地帶を見ることがある。又山脈はその兩側に於ける住民の風俗・習慣・言語等を異にすることが珍しくない。山脈を國境に見るのはこれがためである。

低地

低地は、それが沙漠・凍原・密林等でない限り、概ね農・牧業に適し、交通が便利なので、村落や都邑がここに發達を遂げ、夙く文化の中心をなしたものも少くない。盆地はその文化的の上から屢々別天地をなすことがある。

河川

河川は概ね高地に發し、低地へ流れるが、その間に急湍・瀑布をなし、峡谷・甌穴を穿ち、蛇行してはその水勢によ



(村谷栗郡佐佐島廣) 穴瀬

近時電力は工業の重要な動力となつた。

水火火淡半鹹
河口口水鹹湖
礁跡湖湖湖湖
ド・湖湖湖湖
十湖湖湖湖湖
珊瑚河檜原田
珊瑚北原田
島沼潟湖湖

幅を縮めて深さを加へ、且つ水面を高くし、又河口の土砂を防ぐ。堤防はこれによつて流の源となり、風致を加へ、氣候を和げ、交通を助け、魚介を養ひ、鹹湖にあつては鹽をも供給する。河流の間にあつては、これを調節してその氾濫を防や橋梁でこれを防ぐ。橋梁は山間の峽谷などでは、これを殊更に高く架けなければならぬ。

湖沼 湖沼は成因によつて**火口湖**、**火口原湖**、**氷河湖**、**陷落湖**、**堰塞湖**等に分けられるが、何れも水を湛へて水力や用水の源となり、風致を加へ、氣候を和げ、交通を助け、魚介を養ひ、鹹湖にあつては鹽をも供給する。河流の間にあつては、これを調節してその氾濫を

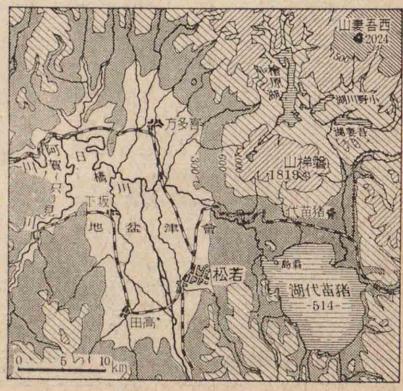


①水は京水へば、琵琶湖の灌漑は三島方面に用ひられる。又發電に送られる飲用に供する。

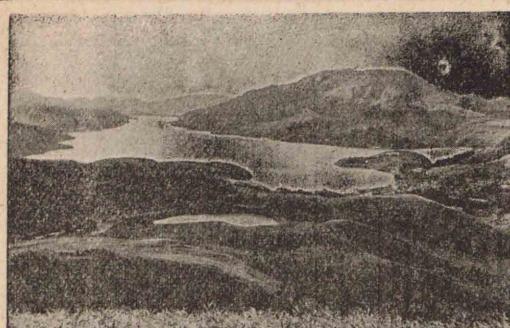
防ぎ、又濾過して屢々飲用水を供給する。水が涸れると沿岸に沃野を残す。

泉及び井 泉や井は多く聚落の位置や農牧業の興廢を決定する。鑛物質を多く溶解した泉を**鑛泉**といふ。

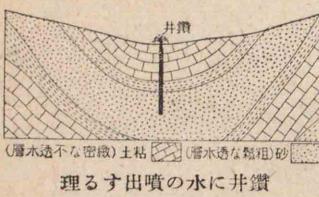
火山地方には**温泉**が多く、これ等の中には療養上に利用されるものが多いた。



地盆津會：野沃たつ残てれ渦の沼湖

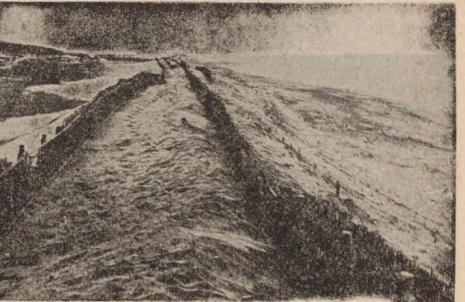


(湖原口火) 蘆

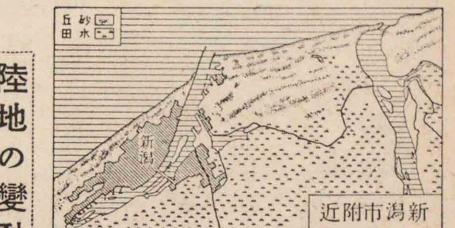


理るす出噴の水に井鑛

掘りあてたもので、利用上最も便利である。海岸は内陸に比べて氣候よく、且つ水産に富み、殊に港灣のある所では、交通や貿易に便を與へ、文化を助けることが大きい。從つて**海岸線**の長い島も大陸との交渉の難



(近附市渴新) 事工防砂るけ於に岸海

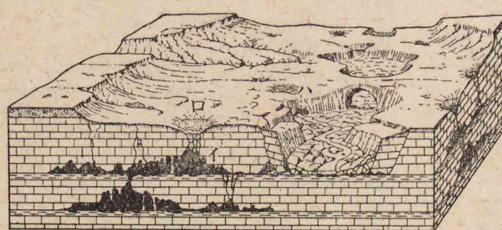


易によつてはよく大陸の文化を集積し、却つて大陸にも優る鞏固な國家をつくり得る。海岸の砂丘は、沙漠に於けるものと等しく風によつて移動するものだから、海岸には多く防風林を見る。又熱帶地方に多い珊瑚礁の間には良好な錨地や着水場が少くない。

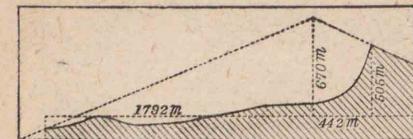
林い植岸か砂⁽¹⁾でゑにら丘ふては我が移國動する
①(イ)石炭洞
②(ロ)瀧穴
③(ハ)天然橋
は我が北陸地方に
は我山崩が多い。

やうであるが、實は内外二力の作用によつて火山・地震等の現象を生じ、又風雨その他のによる浸蝕作用や堆積作用が行はれて、絶えずその地形を變化してゐる。

海岸の砂丘や山間の山崩は何れも風・雨等の作用に基づき、地下の石灰洞は地下水のつくつたもので、



形地の方地岩灰石①

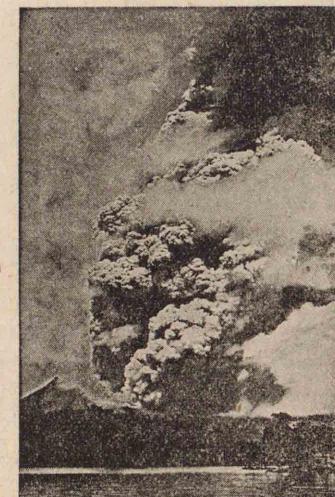


きシニユ⁽¹⁾の
モード⁽²⁾の
漁礁⁽³⁾の
如ラ

か工もよ地後雨一
ね事防つ形にの般
ばを砂てと多後に
施とは地いや山崩
らし排幾質か雪崩
ぬて水段とら崩は
置のにに長

この空洞の崩壊が陥落地震の因となることもある。

瀑布は後退して峡谷を作り、これで高原を寸断し、河流は水量と流速とによつて土砂を運搬し、堆積し、湖沼は専らこれを沈積する。



(國島渡道海北) 煙噴の岳ヶ駒の發爆大の月五年四和昭は圖。影撮の時

火山 火山の活動には大正三年に於ける櫻島のやうな莫大な熔岩を噴出するものと、明治二十一年に於ける磐梯山のやうに爆發して山體を破壊するものとあるが、これは多くその噴出物によるものでガスの多い時は爆發性を帶びる。その幾回も噴出したものは層状火山をなす。又熔岩も飴状のものは鑛滓状のものよりも遠くまで運ばれ、熔岩が破裂し飛散すると、火山彈・火山灰等となる。その微

明⁽¹⁾カトア十六世時、火世界に及ぶ。大岳流雪に二十が正月で発生し、解けた後は十一年に富良西野方泥積勝。

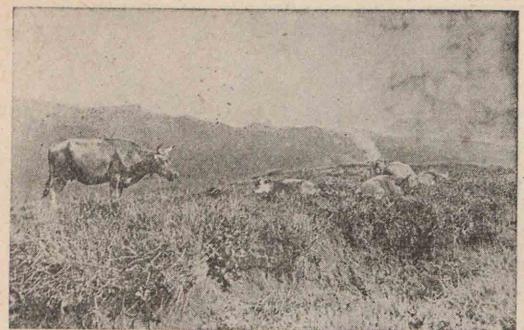
細なものは、時として驚く程高く、且つ遠くに達する。⁽¹⁾火山灰が泥流となることもある。火口から昇る煙状のものは、主に水蒸氣であるが、火山によつては硫化水素・亞硫酸ガス・炭酸ガス等を噴出する。



妙義山の奇峰

火山は中には複雑なものもあるが、もと火山作用の結果に成つたものであるから、概ね圓錐状をなし、大きなものは山頂附近が最も急峻で、以下次第に傾斜の度を減じ、麓には長い裾野を曳いてゐるが、外力の加るに従つて初に放射狀の谷が發達し、山體を構成する岩石の硬軟の度によつて、いつしか圓錐の原形を失ひ、遂にはあの妙義山や舊耶馬溪や、香川縣の屋島、靜岡縣の愛鷹山等に見るやうな形態と變りはててしまふ。

火山は時に活動して災害を興へるけれども、その火山灰に被はれた地方は、概ね土地が肥え、火山の裾野は牧場等に適する。又火山は形が美しく、山中に瀑布・湖・温泉等もあつて、保養・遊覽の區となる。



行多がなしお馬牛の牧場を好む。

陸地の褶曲及び斷層

地殻にはそれが横に壓合つて出来た褶曲や、引裂かれて生じた割目が無數にある。ヒマラヤ・アルプス・ロッキー等の大山脈は、悉くかうした褶曲によつて成つたもので、日本列島も亦褶曲山脈の一部である。

その割目は謂はゆる断層であるが、これが生ずると、地殻が幾つもの地塊に分かれ、地塊の間に上昇又は沈降が行はれる。鈴鹿・笠置・金剛の山脈は、伊賀・奈良の盆地及び大阪平原などと共にかうした断層に基づいて出来たものである。

波浪のある崖や貝類・珊瑚などが今日の汀線よりも高い

富山に富する。海縣は山の海に津林が埋没する。

所にあれば、陸地の上昇古い建物や森林の遺跡などが水底にあれば陸地の沈降した證據である。段丘・三角洲の生成は上昇海岸に著しく、三角江溺谷^(オホレダニ)は主として沈降海岸に形成される。

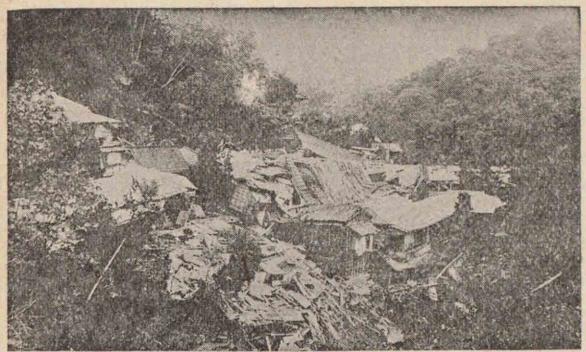
地震

地震は、これ等地殻の一部に於ける變動が急激に起つた際、地殻が震動する現象である。

地震の中には、火山の活動に伴ふ火山地震などもあるが、明治二十四年の濃尾、大正十二年の關東の地震は何れも断層地震又は地辺地震構造地震深發地震ともいはれるもので、最も強い烈震に屬する。

地震の強弱は地盤の地形や地質により、その度を異にするが、概ねその初は微弱で、次いで強烈となり、そして次第に衰へる。その初期微動の繼續時間は震源との距離に比例する。そして大地震の後には屢々餘震がある。

地震は今日では、なほ未だ豫知することが困難である。



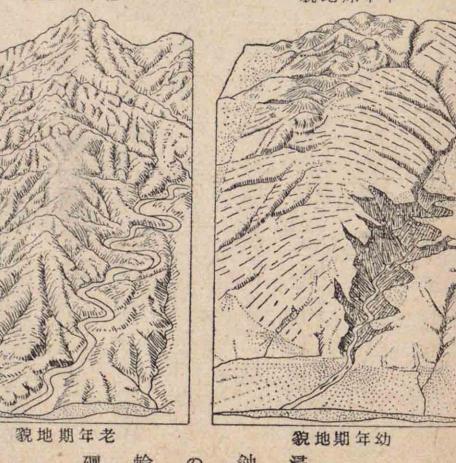
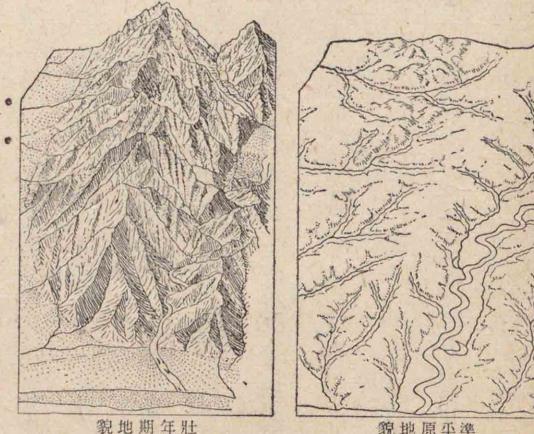
(泉溫倉底根箱) 壊倒の屋家るけ於に震地東關

から、家屋その他の土木工事を改善してその災害を小さくすることが大切である。

殊に地震の際に最も注意すべきことは、第一に火の元、第二に狼狽せぬことである。

浸蝕地形の輪廻

我々が日常見るところの地形は、すべて内外二力によつて生じたものであるが、その初は内力の作用で海底から隆起してまだ幾くばくもない時は、谷も狭く山も峻しくなく、地形は單調である。これを幼年期の地形といふ。外力の作用が漸次加つて、



輪廻の浸蝕

必口か際まげてか壁包ぬにげば火を時意生火震のば知るかに屋陰最はるこ堅そや的家地要ならんた風安にま。力早と絶はし、災には時なつたらは外にも逸。と固のうに屋震でと點爲深上全地沿れ萬め消く知ち先て水で伴にらいてい物に避堅旱地がに基に震の對ある燈に夜にな上うた一ね火近づづ大やあつむ恐ぬふが往飛難卒く震大し基礎工動渠對する設や、突行地をてなば。所た既火地砂るてしろ。なこ塵々出ずな附の切て工夫しきをして非平發くに匍走ら煙な防になにの震を。起ろし地けと落頭する物近際で置事しな部ても當常の。逃つるばにら火告ら出元の用平る地い震れをす上際。のにあくを、い分は

るのく龍段道岸こは海先の返⁽¹⁾行際りれ
場こ、川丘・段と段岸岩河河とを地
合こ聚のは太⁽²⁾丘又⁽³⁾河河とはあをはを流い地形
がに落流桂にはある生河河はふ形の
多發や城川、河北。ず岸生は所。⁽⁴⁾
い。達耕に・河北海海るに、謂こ著
す地多天岸海海るに、謂こ著

谷が深く、山が峻しく地形が最も複雑となつた時は、これを壯年期の地形といふ。浸蝕の度が更に進み、再び山が平になり、谷が開けて高低起伏が著しくなくなれば、これを老年期の地形といふ。地形はかうに變化してやまないものであるから、遂には高低平均して再び浸蝕作用が行はれないやうになる。即ち地形の死期に入つたもので、これを準平原といふ。この地形でも内力によつて一部が隆起する、又浸蝕作用が新に起る。かく地形は内外二力の作用で單調と複雑との間を絶えず變轉する。これを浸蝕の輪廻といふ。

我が國は、その地體が主に褶曲山脈で、且つ火山に富み、その地形がほぼ壯年期にあるから、山嶽が多く高峻で、水系が複雑である。

第三章 海 洋

海洋の分布

海洋はその廣さが陸地の約二倍餘で、且つ互に相連

絡してゐる。

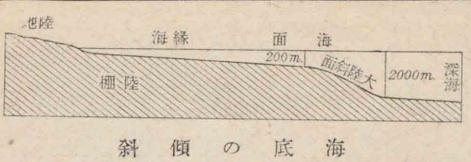
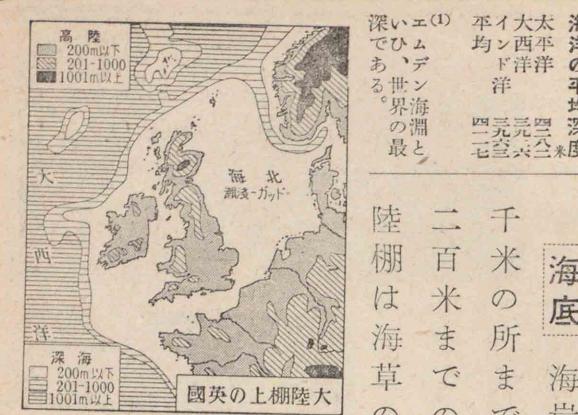
- 題問修自
1. 地下水とは何か。
2. 井水に深淺の差あるは何故か。

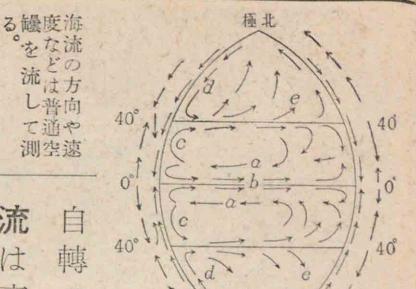
海洋は人類定住の場所ではないが、經濟交通などの人類の生活に深い關係がある。そして、その表面から絶えず蒸發する水分は大氣の媒介で陸地に送られ、河水となつて海洋に還るが、この循環作用の陸地に影響することが、又頗る大きい。

海底

海岸から深さ二百米の所までは緩傾斜をなし、そこから二千メートルの所までは急斜面をなしてゐる。その二百メートルから外が大洋で、二百メートルまでの所は陸棚と稱し、ここに日本・イギリス等の陸島がある。陸棚は海草の繁るに適し、魚介類が集るので、その廣大が水産業の發達と深い關係をもつ。水深二百メートルから外の大洋の深海底は、その起伏が一般に著しくない。これはここに主として堆積作用が行はれるからである。

海洋の深さは平均四千米で、陸地の平均高度の約五倍に當る。その最深部は大抵狭くて長い溝状をなし、フィリピンの東側にはその深さ⁽¹⁾一萬七百九十三メートルに及



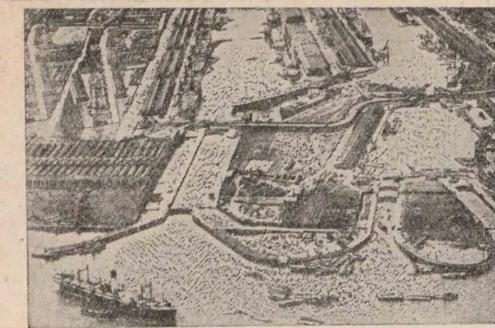


流の何れも著しいものである。
暖流は赤道海流にして貿易風及び地球の自轉の結果環流をなしてゐる。寒流は高緯度の海から南下する。

何れの海流もすべて氣候・生物分布等に影響して、人類の生活に關係するところが大きい。

潮汐

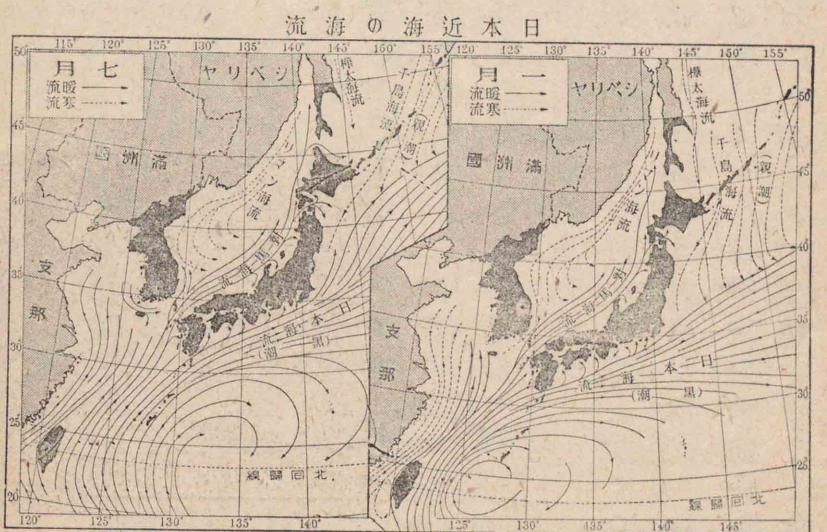
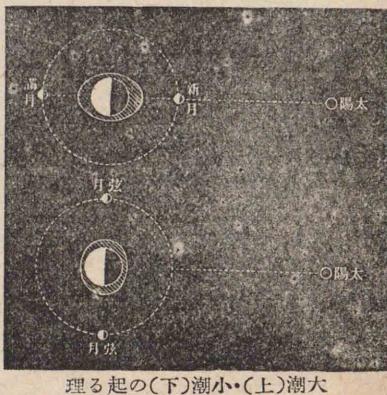
海岸には潮汐といつて海水の面が十二時二十六分の週期で昇降する現象がある。主として月の地球に及ぼす影響であるから、月



クッド浮の河畔ズムニア

の地球に對する海面が満潮となり、月に反対の海面も同時に満潮となり、この二點の中間の海面が干潮となる。従つて一日中に起る潮汐は一回は月に向ふ表潮、他の一回は月に背く裏潮である。そして太陽と月と地球とが一直線上に並ぶ新月及び満月の時に干満の差が大きい大潮を起し、

さうでない弦月の時に干満の差の小さい小潮を起す。我が國の如き海國ではこの潮汐と共に漁船が發着したり、村民が集散したりして、海岸が著しく賑はつたり、寂れたりすることが屢々ある。この干満の差は所によつても異なる。概ね内海の中央に小さく、灣入した淺海に大きい。津浪と同じく、三角江や灣頭には殊に著しい。三池港や仁川港に開門式ドックを築いてゐるのはこれがためである。



- 題問修自
 4. 3. 2. 1. 黑潮の方向所在を説明せよ。
 海流の氣候に及す影響如何。
 海流と潮流との區別を問ふ。
 現象が起るか、その相會ふ所は夏と冬とに於て相違があるか。
 黑潮の我が國土に及す利益如何。

潮汐によつて生ずる潮流は海峡に於て最も著しく鳴門の潮流は普通の汽船の速さと匹敵する。海峡に近い港が小舟で賑はふのは、この潮時に關係することが多い。

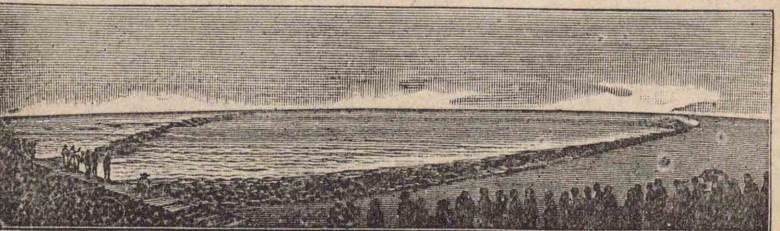
流速一時間ふに一
 とが五ある。及ぶにこ
 とが五ある。及ぶにこ

河口が開いて三角江をなしてゐる所では、往々満潮時に海水が堤防状となつて河道に溯ることがある。これを海嘯(カイゼウ)といふ。

第四章 気候の調査

氣候と人生

氣候は吾人の健康と精力とに最も多く影響して、文化の發達はこれによつて相違を生ずることが最も大きい。そしてこれが氣候の良否は、全く大氣の狀態によつて分れる。



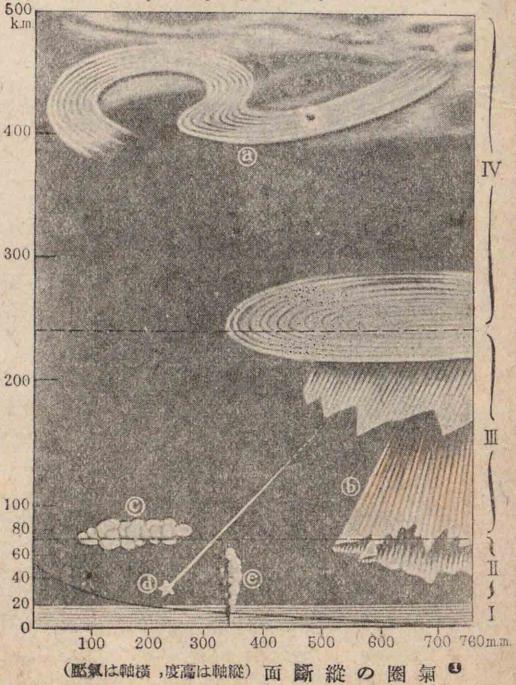
海嘯の支流の江子揚(支流の江子揚)塘

I II III IV
 edcba ず弧か主し温か主るほ且て水蒸氣上を生じ、
 のク流夜幕弧らとたのらと成して、
 噴火星光狀層極成して、
 雲極光光、
 煙光、
 火光、
 トア

大氣の限界 大氣はこの地球を完全に包んで地上約五百糠の邊まで及んでゐるらしいけれども、上層ほど稀薄で、約百糠以上は殆ど水素のやうなもののみから成り、大氣が對流して風雨を生じ、人類生活の可能なのは、地上僅に十餘糠の間に過ぎない。

氣温

人生には氣温の適當なことが必要であるが、氣温はその源が主として太陽熱にあるから、晝・夜や四季によつて昇降し、赤道附近に高く、高緯度ほど低いのが常であるけれども、太陽熱は先づ地面上に吸收され、その地面の輻射熱を大氣が對流によつて傳へるのであるから、氣温は又地表に最も高く、高度を増すに従つて低くなる。



日本よりあはれ
 八月頃、下時東す
 一時
 三時頃
 七月から
 外面は
 温ソ、

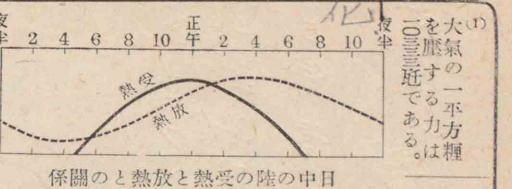
百中で日出前が
 第四章 氣候

日本よりあはれ
 日出前

百中で人生の命のつまみ
 二三

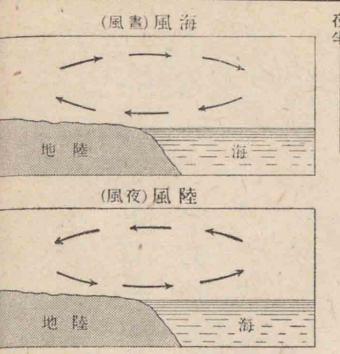
氣温の変化

(1) 大気の一方で、
二三度の範囲である。

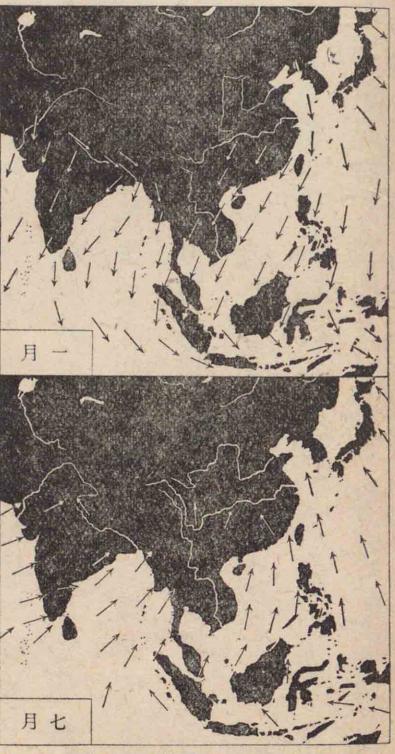


一日中の最高温が午後二時頃で、一年の最高温が夏至より約一月遅れるのも亦概ねこれがためである。かく氣温は緯度や高度によつて變ずる外、海・陸の分布、風の方向、山脈・海流等によつても大いに異なるものである。世界に於ける最寒の地はシベリヤのヴェルホヤンスク附近で、嘗て零下五十六度に降つたことがある。最熱の地はサハラからアラビヤに亘る一帶の地方で、嘗て五十度を超えたことがある。人類の健康と體力とには、年平均二十度以下零度までの氣温が最も好適である。

氣壓と風 氣壓は海面上で平均七百六十粍であるが、海面からの高さの加るに従つて減少する。富士山の如き高山に往々山醉病の發するのはこれがためである。氣壓は又氣温の高低・水蒸氣の多少などによつても變化し、この氣壓の差から大氣の對流即ち風が起る。



海岸で陸と海との比熱が違ふの



向方の風節季のヤジア南東

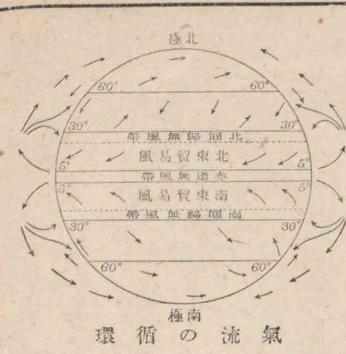
が冷對が頂た早頂山吹えに吹にあくが地
谷き向、熱谷で
か頂、つ谷せ間は
らが夜でからより日
山急は谷られより中
風に反風山るも山

赤道界は、多雨が多風帶、所謂は
この雨回帶を
の沙が歸を
致歸帶い、無風帶に
す無は。常謂は

で朝夕の風の外、晝は
海風、夜は陸風が吹き、
氣候が調節されるの
みか、帆船の發着にも
便である。

又海風・陸風と同じ
く海・陸の比熱の差か
ら起り、冬、陸風、夏、海風となる季節風がある。氣温・雨量との關係が甚

だ大で、産業・交通等に影響するところも頗る大きい。

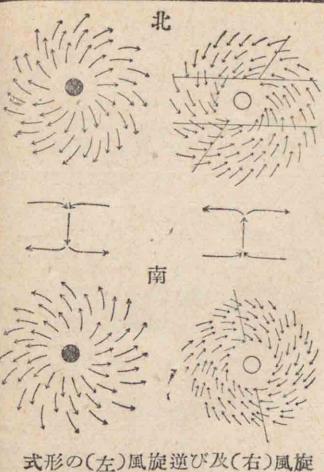


結果、南北からの氣流を促し、この氣流が地球自轉の影響をうけ、北半球では北東風、南半球では南東風となる。これを貿易風といふ。赤道地方では常に大氣が熱せられて上昇するは北に向ひ、下層と反対の氣流となる。この上層の氣流を

多に緯帶がの高で流置島
い。ふかはい。地且動風
のら氣。一方つき風帶で
高流偏般に氣がで
雨峰が西に向温水は
度低風雨ふの平氣

逆貿易風といふ。この上層氣流は大部分緯度三、四十度邊で下降して貿易風に合し、一部は更に上層を極地方に進む。その大氣の上昇する赤道地方と、上層氣流の下降する緯度三、四十度邊とには一定の風がない。この地方を**赤道無風帶**及び**回歸無風帶**といふ。

逆貿易風は高緯度に行くに従つて下層に降り、ちやうど水が漏斗に入つた時のやうに極をめぐり、**偏西風**となる。緯度五、六十度の海上に最も著しい。



式形の(左)風旋逆び及(右)風旋

射の地帶が季節によつて南北に移動し、貿易風も交代して北東風となり、南東風となるのを、昔帆船が利用して貿易に従つたからである。

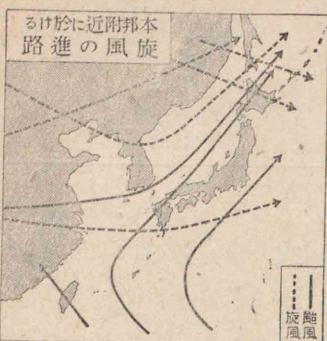
又貿易風帶・偏西風帶・赤道無風帶・回歸無風帶等は何れも雨量分布に密接な關係があつて、氣候・産業等

人類生活に影響するところが大きい。

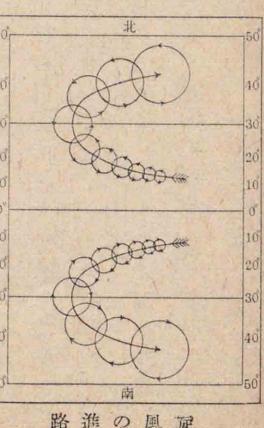
旋風

低氣壓が生ずると、周囲の空氣が動いて旋回する。これを**旋風**といふ。北半球では時計の針と反対の方向に旋回する。高氣壓が生ずると空氣は逆に流れ出る。

これを**逆旋風**といひ、旋回の方向は旋風の場合と全く相反する。旋風の中心は普通徐々に移動し、北半球では初め北西に進み、多くは次第に北東に轉ずる。毎年二百十日頃、フィリピン近海の海上に起つて我が國に襲來する**颱風**は、旋風の大きなもので、往々産業・交通その他に大損害を與へる。



るけ於に近附邦本路進の風旋



路進の風旋

風は氣流であるから地上では地形によつて著しい強弱を生ずる。されば建築も位置・方向等について豫め十分の注意を拂ふがよい。颱風闇内の地では防風林や防風壁を造る必要がある。すべて暴風の際は戸締りなどを嚴にし、地震の際と同じく、家屋の部分的動搖を防ぎ漏電その他の失火を戒めねば

蒸段より度は乾い、大冬たき夏は一氣空
蒸段より度は乾い、大冬たき夏は一氣空

ならぬ。また暴風は豪雨を伴ふから往々河水の氾濫を來すのみならず、海岸では潮時と風向とによつて異常の高潮を來すことがある。暴風の日は刻々に變る風の方に向に注意し、中心通過の際は特に吹返しを警戒せねばならぬ。

大氣中の水分 大氣が含む水蒸氣の割合を**濕度**といふ。これが又氣温と共に人類の生活に大切である。
大氣の濕度が大きいと、冬寒く、夏蒸暑い。飽和した大氣の氣温が下ると、その一部の水蒸氣が凝縮して水球又は氷晶となり、多くは微細なため大氣中に浮游する。その地表に近いのは霧、高い所のは雲、霧の稀薄なのは霞といふ。雲は形によつて卷雲・層雲・積雲・亂雲等に區別される。

露は盛夏霜は秋冬の頃晴れた静夜に生ずる。山地の農園で往々焚火して煙を揚げるのは、この霜を防ぐためである。雨は雲の水球が集つて大きくなつたもので、大雨ほど急速に注ぐやうに降る。雪は水蒸氣から直ぐに凍結したもので、雨が凍結したものには霰となる。盛夏の候に多く、屢々農作物に大損害を與へる。雹は多く夕立雲に伴ふ。

雨量 雨量は地勢・風向等に關係して大差があり、インドのアッサムは世界の最多雨地と稱せられる。概して熱帶地方は多雨地、回歸無風帶地方は寡雨地である。我が國の雨量は緯度の高まるに従つて遞減する外、海流の影響があるので、小笠原諸島よりも八丈島に多い。又季節風によつて、海岸よりも山奥に多い。

毎年雨停らそ生上のるに江にの毎年
あるがを滞れのすに頃東續流あ太年
進る高ちへ生域る陽六、
所降し我行た氣北や移しに時の
謂ら連がはめ壓太うつて低最七
梅雨。日國妨にが平ど徐氣揚高月
でこ霖にげ、發洋こ來々壓子位頃

天氣と天氣豫報 日々の晴雨・寒暖・風位等は吾人の日常生活に直接關係するところが大きいので、中央氣象臺では毎日各地の測候所よりの報告に基づいて天氣圖を作り、これによつて**天氣豫報**を發する。特に暴風雨の虞ある地方に對しては、氣象特報暴風警報を出す。

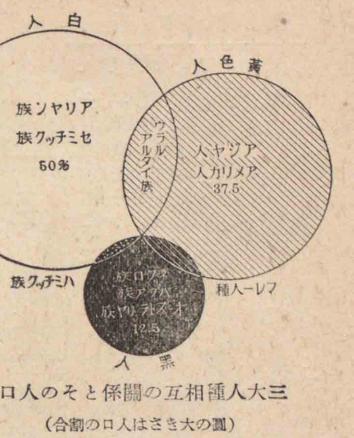
1. 大氣は如何にして温まるか。
2. 一年中と一日中との最高氣温の時刻如何。
3. 風は如何にして起るか。
4. 旋風は如何なる地方に最も多く發達するか。
5. 朝風・夕風は如何にして起るか。
6. 海風とは何か。
7. 濱戸内海の晴天多き理由如何。
8. 雨量分布について知るところを述べよ。

災害の防止

風雨・地震・津波等の自然的災害は、どうしても人生の幸福のためにこれを防止せねばならぬ。これが防止の方法は人類の文化の程度で決せられる。我が國は殊にこれらの災害が多いのである

から、常によく注意して突發の際の萬全を期さればならぬ。

第五章 住 民



口人のそと係關の互相種人三大
(合計の人口はさきの大圓)

ども、アメリカ人種はアジヤ人種に、マレー人種はアフリカ人種に近い。

世界の人類は、もと同一の源から出て、廣く各大陸に分布し、環境の影響を蒙つて今日のやうな人種の別を生ずるに至つたもので、人種は更に幾多の種族に分れ、未開の種族は多くアメリカ・アフリカ・オーストラリヤ等の一部に住んでゐるが、それ等は古來アジヤが人類文化の淵穀地となり、ここに優秀な民族が興る毎に、先住民族は壓迫され

れて、漸次波の如く三方に移動したがためであるやうである。

人種一覽表

人種	人種	人種	人種	人種	人種	人種	人種	主要民族
マレー人種 (海岸島嶼人種)	アメリカ人種	アフリカ人種 (黒人)	ヨーロッパ人種 (蒙古色人種)	ヨーロッパ人種 (蒙古色人種)	アジヤ人種 (蒙古色人種)	人種	人種	人種
萬約六千	約一億	約二億	億約九・五	約七億	皮膚青黃色 髪は少く直	皮膚青黃色 髪は少く直	大和・朝鮮・滿洲・蒙古・漢	主
い鼻頭皮膚褐色 髪は少	い鼻頭皮膚褐色 髪は少	突鼻頭皮膚褐色 髪は少	虹膜青褐色 髪は青色	高額骨 髪は少く直	人種	人種	人種	要



害及び白色にのものは黄皮膚の色せび日人素よ所量、神光はのる在の皮黒の色れ經で熱量もの多下の組は帶の深少のあに白を管強い、とそ素の、

人長日に類は本及ばば均額平身

白人種は、多くはもと狩獵を事とした結果、移住性に富み、よく自然と闘つて、特に科學文明に秀で、アジヤ人種は概ね早くから農耕を營んで聚落に安んじ、自然を専んで最も精神文化に勝れてゐる。

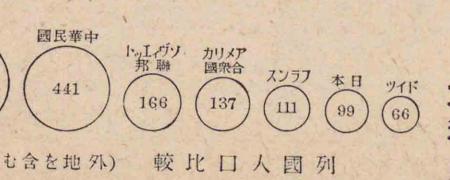


我が國は數多の民族を有するけれども、大和民族が人口の約七割五分を占め、よく他族が人口の益を堅實を同化してゐる。この大和民族も、もと複雜した民族の同化したものである。

しかしこれが我が國の益を堅實な民族的發展を遂げると共によく世界東西の文化をも融合統一するであらうとせられる所以である。

人口

人口は國家の一要素で、この多少がその國家の隆替と關係する。國勢調査のまだ行はれないところも

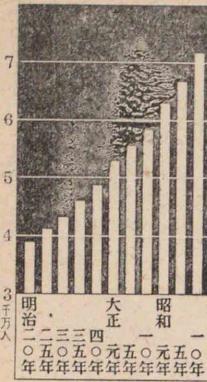


(む含を地外) 較比人口國列

あるが、世界の人口は二十一億に餘り、なほ益増加の傾向をもつ。

今日世界人口の四分之一はイギリスに、五分の一は支那に屬し、ロシヤ・アメリカ合衆國・フランスこれに次ぎ、一億以上に達する。我が國は全領土の人口一億に近く、世界第六位であるが、各國の本國のみで比較すると、支那・ロシヤ・アメリカ合衆國に次いで世界第四位にある。これに次ぐものはドイツ・イギリス・イタリー・フランス等である。

人口の増減は、その國土の増減に伴ふことがあり、移住民の出入によ



出國移民はボーラン、ド・イギリス・イングランド、イタリー、スコットランド等、入國移民はアーヴィング、ジョンソン、スコットランド等。

日本等、入國移民はアーヴィング、ジョンソン、スコットランド等。

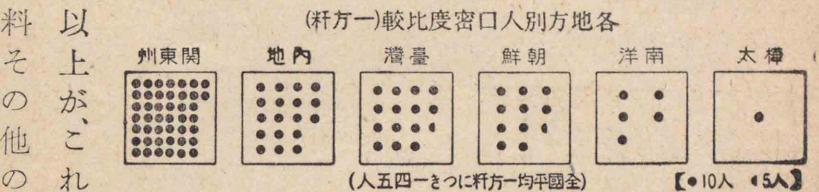
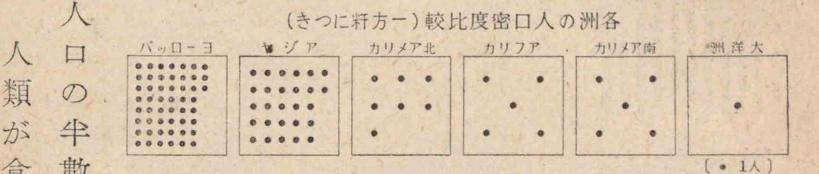
日本等、入國移民はアーヴィング、ジョンソン、スコットランド等。

日本等、入國移民はアーヴィング、ジョンソン、スコットランド等。



世界人口分布

各洲別人口
 大洋洲南北アフリカヨーロッパアメリカ
 二十六六八二五七六八二四九六八二三七六八二二六八



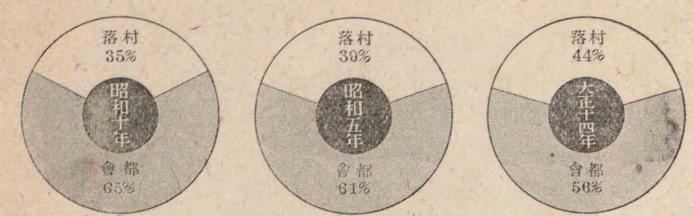
る。ことがあり、産業の興廢に従ふことがあるが、その自然的増減は出生と死亡との差により、我が内地のこの増加率は近年千人につき約十五人の高率を示してゐる。フランスの如きは増加率が甚だ小さくて國勢の前途を悲觀してゐる。文化の程度の低い民族の間には人口のむしろ減少するは、主としてその教育低く、衛生思想に乏しく、結婚その他の生活状態がよくないために基づくやうである。

人口の密度 その地方の氣候や地勢、住民の歴史・生業によつて異り、その最も大きなのは支那東部・日本・インド・西ヨーロッパ等で、世界は常に人口密度が高く、その多くは農業地帯であるから、人口

か活外に商工業で生
きる者が多い生
きる者が多い

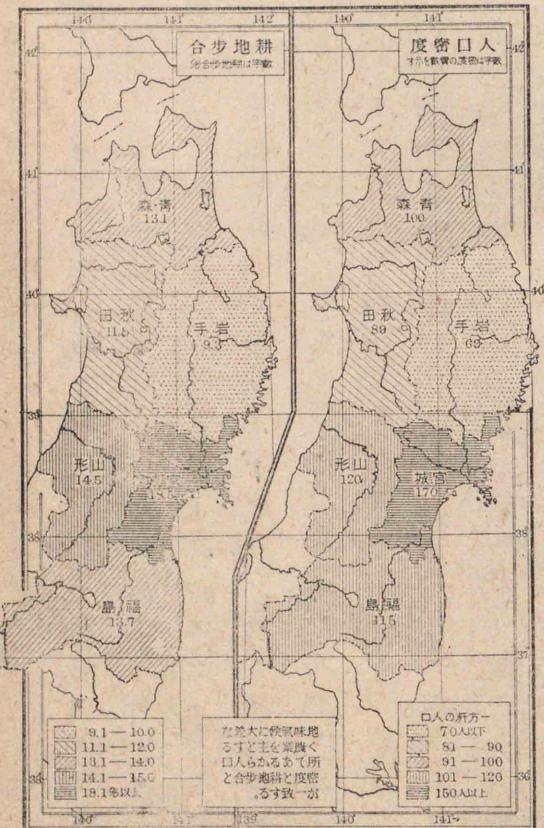
密度は概ね耕地歩合に比例し、その稠密な地方には主として集約農業が行はれてゐる。

しかし農業は相當の土地を要する關係上、農業地の人口には自ら限りがあつて、狭い地域に多數の人口を集中するのはむし

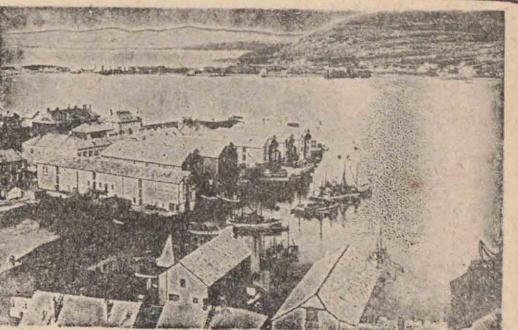


(上以人千五は邑都化變の合割口入鄙都地内

人口の益
集中する
につれ、そ
の周囲の
地方に於
て發達し
又かうし
た都市に
ろ商工業
である。



奥羽地方に於ける人口密度と耕地面積



(一ユウルノ) トスエフルメムハ港の北最界世

。

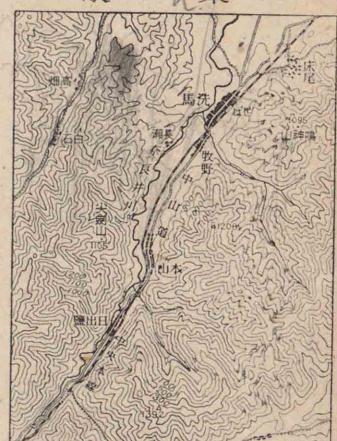
ける農業が勞力の缺亡等から次第に衰頹することがある。我が内地の人口密度を列國本國のそれと比較すると、ベルギー・オランダ・イギリス・日本・ドイツ・イタリー等の順であるが、我が國はそのベルギー・オランダ・イギリス等が何れも廣大な植民地を有するのと異り、ドイツ・イタリー等と同じく、本國に於ける過剩人口の捌口と生活資源の缺乏とに苦しんでゐる。

村落の位置が地
勢に於ける所と
て異なる。水道、飲料水等の
ある。危水に通路がある。
避險。家路にあけた
山。

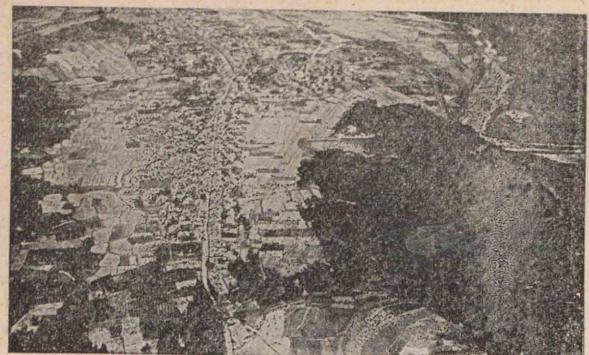
植民の禁制や關稅の障壁等が徹廢され、且つ交通や科學等の一層の發達と相俟つて、現代に於ける人類の生活形式が更新せられたならば、今の森林や荒地にも、沙漠や凍原にもやがては多くの住民を見、人口の分布が漸く世界に平均されるであらう。それは本當に人類がこの地球をおのが安全な住所とした時である。

聚落 人類は、生活するに互に相集つて聚落をなすを常とする。

聚落のうち、最も簡単なものは**村落**で、その發達したものは**都會**である。



馬洗たし達發に口出の谷川



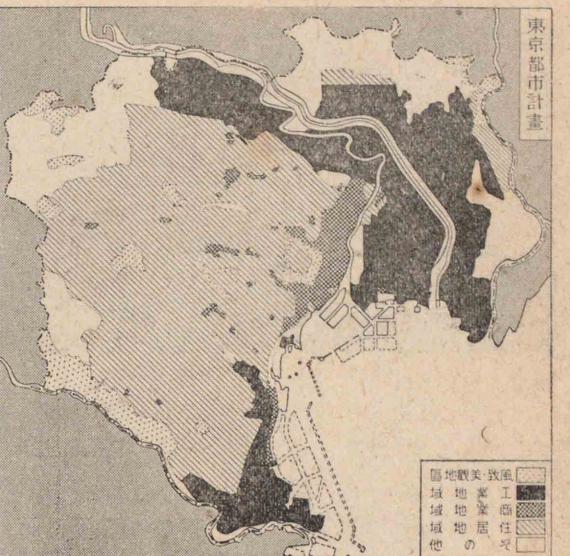
例 街 村 村

村落は地勢・産業・社會制度等のために或は散村となり、或は集村となる。又集中には海邊の漁村や、街道の宿場に多い街村があり、鑛山や温泉地に見る層村があり、近畿の諸平野に存する格村がある。

集村はその所在の地勢などによつて驛站や市場となり、河岸・湖岸・海峡等の渡場、船舶の繫泊所・避難港に適するものは、自然に發達して都會となる。内陸との交通の便利な大河口には往々大都會を生ずる。しかし都會には政治・宗教・軍事・教育・産業等の特殊關係から發達し、盛衰するものも甚だ多い。

村落や都會の多少は、住民の生業と密接な關係がある。

東京都市計畫



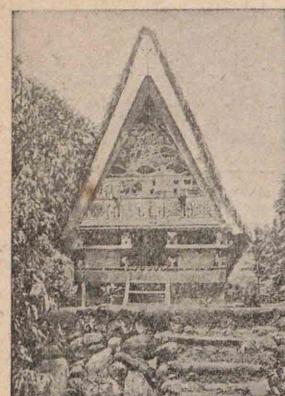
宿場町
小田原・三島
横濱・長崎
横下町
城下町
仙臺・松江
門前町
長野・成田
温泉町
野・熱海
学校町
澤町
江田島

農業地には村落、商工業地には都市の多いのが常である。
都市と農業地
都市は交通・産業・政治等の發達に伴つて發達するから、その發達の契機によつて、宿場町等に分たれるが、都市の多くはこれ等の中の數個の性質を兼ね備へてゐる。従つて都市の形式が自らその性質によつて異り、數個の性質を兼ね備へるものでは複雑である。發達の急激な都市では屢々その市區を改正して、商業區・工業區・官衙區・住宅區等を明かにし、全都市の機能を十分に發揮させる。殊に近年の都市計畫では都市の美觀と衛生とに注意を拂ひ、又都市の中央部が往々住居に適しないために、大都市の郊外に田園都市を設けるやうにしてある。

すべて自然に發達した市街は街衢が不規則であるが、人爲的に建設されたものは、それが整然としてゐる。その人爲的のは我が國には基盤目式のが多いが、外國には放射狀と同心圓狀との交錯したのが多い。

衣食住と文化

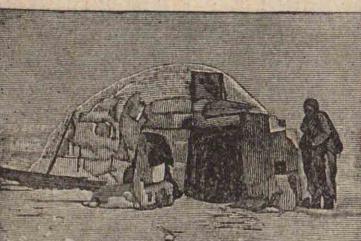
住居は單に雨露を凌ぐためばかりのものでない。これによつて外敵をも防ぐ。又家族的・社會的諸生活の本據であつて、これを裝飾するに至れば民族藝術の發達を見る。



南洋人の土着



ヤネギュニ



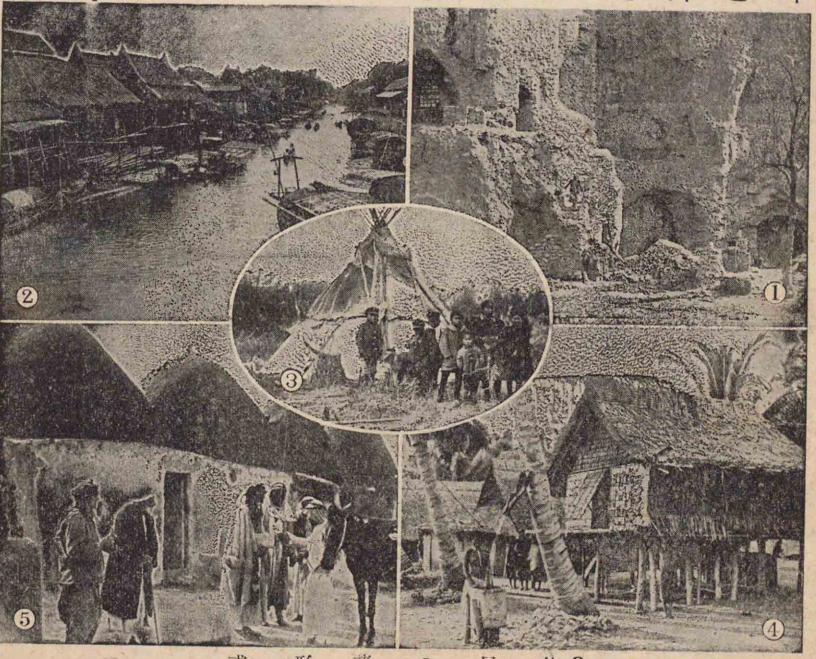
モキスエ

文化の程度とによつて異り、熱帶の未開人は往々これを樹上や水上に構へ、寒帶のそれは土窟を穿ち、或は水塊を積んで造る。未開人ならずとも概して森林中

① ② ③ ④ ⑤
上バ居黄
街ン生土地方の穴
テオロッコ(支那)
ナウント(樺太)
部落(大洋土)
シリヤの土人

では木材を集めて造り、樹木に乏しい山地等では土・石を材料として營み、雨の少い所では屋根のない家を泥・煉瓦で建て、水草を遂うて移転する遊牧民はテントに獸皮を用ひる。北支那に於ける黃土又は石灰岩の斷崖地方では、今も穴居してゐる。

その職業が蒐集遊牧等を主とする未開人は、移轉の容易なるやうテントを張るか小屋掛をなすに過ぎないが、定住して農・工・商業を營む文



式形諸居住



マイアの機械

明人は、木材・石材・煉瓦・瓦・ガラス・鐵・コンクリート等を用ひて大厦高樓を建てるやうになり、その工場・官衙・集會所等には殊に雄大宏壯なものがある。又人口稠密な大都會には、高層建築を以て地積を節約し、

一建築物で恰も小都會の觀を呈するものがある。

衣服も家屋と等しく雨・風を防ぎ、身體を護るためのもので、且つ裝飾である。熱帶未開の裸體人もなほ且つ裝飾を知り、文化の發達と共に衣服が裝飾と離れられないものになる。衣服の原料も家屋と等しく環境によつて支配されるが、概して暖地では棉花・パルプ・麻類等の植物性原料、寒地では獸毛・皮革・羽毛等の動物性原料を用ひる。和服は南方暖國から來た開放的のもの、洋服は北方寒國から來た閉鎖的のものである。

食物は熱帶地方の住民は専らこれを植物に求め、植物の乏しい寒地及び乾燥地の土人は多く動物から採る。未開人は野生の植物・動

物に依頼するから、その生活が不安定で、常に住所の變更をも餘儀なくされる。漸く進歩して水草を逐ふ遊牧生活から、一所に定住して農業を營むやうになれば、その生活は安定して食物も複雑となる。現代の文明國民は交通機關を利用して食物を遠い異域に求めるから、一地方の兇作による饑饉にも襲はれず、その食物も穀類野菜・果實・魚肉獸肉等の植物性・動物性のものに各種の嗜好品を加へ極めて複雑である。

言語 世界に於ける言語の種類は一千餘もあるが、最も多くの人類に用ひられるのは支那語で、印度語がこれに次ぐ。しかし最も廣く行はれるのは商業語としての英語・スペイン語、外交用語としてのフランス語、學術語としてのドイツ語等である。

宗教 現今の大宗教は、何れもアジヤに起つたものである。國語の統一してみると否とは、國運の進展に大なる關係がある。植民地で國語教育の重んぜられるのは、これがためである。

それがあれの宗教も、歴史が永い、その精神がその民族との關係を深く持つてゐる。

佛教

主にアジヤの東部と東南部とに行はれ、約四億の信徒を有する。

キリスト教

主に歐・米諸國に行はれ、信者五億に餘る。

回教(イスラム教)

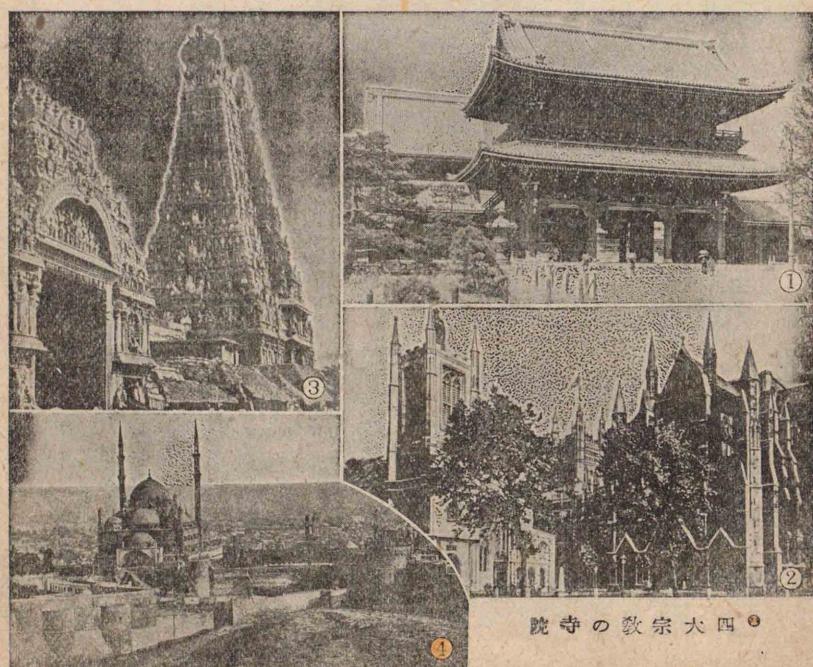
主としてアジヤの東南部・西部・中部及びアフリカの北部、ヨーロッパの東部に行はれ、信者は約二億に達する。

インド教(ヒンズー教)

主に行はれ、信者は約二億に及ぶ。

新教(ルーテル教)

この他、チベット・蒙古には佛教



四大宗教の寺院

教の一派なるラマ教が行はれ、ユダヤ人の間にはユダヤ教が行はれる。又支那には道教がある。

我が國では信教の自由が認められて、國教はないけれども國體に反するものは許されない。國民の多くは佛教を信じ、又別に教派神道(シンドウ)を奉ずる者がある。キリスト教の信者もあるが多くない。

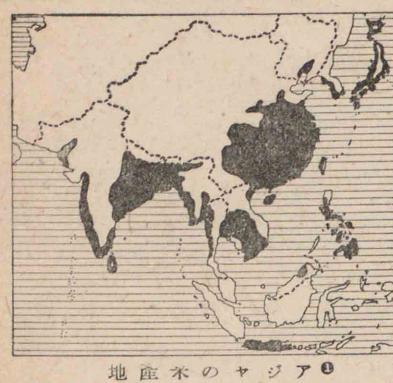
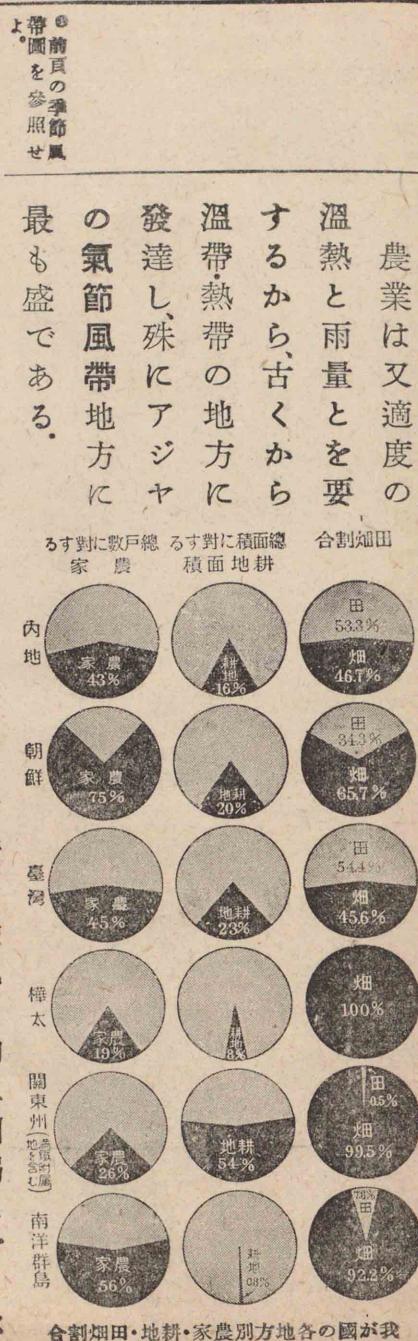


第六章 産業(その二)

農業

農業は今日の世界に於ける主要産業で、人類はこれによつて多くの食料その他の生活資料を得る。人類が一定の地に生活するやうになつてから、多くの住居を河邊や平野に營んだのは、主としてこの農業のためである。農業は水利を要し、平野を便とする。

- 自修問題
- 人種を區別する要點如何。
 - 世界に於ける人種の分布如何。
 - 五大人種の特質を擧げよ。
 - 市街の發達する原因。
 - 農業地が村落に富み、商業地に都會の多き理由。
 - 四大宗教の起つた地を記せ。



世界主要國產米額比較表
(均平年五近最, 萬〇〇〇四一額產世)

支那	印度	日本	其他
37.1%	34.1	11.4	41.4

（殖民地を除く）



(ンピッリフ) 田水るけ於に地斜傾

び支那に最も多く産する。けれどもこれ等は大抵その國で消費され、インド支那のみが多くこれを海外に輸出する。世界の總產額は約一億四千萬噸に達するが、市場に現れるものは僅かにその一割に過ぎない。我が國の產額は人口の増加と共に増加し、最近内地では殆ど自給自足してゐる。不足の年には臺灣・朝鮮の米を移入しなほ不足の際は

ラングーン米（マヒル・シャム米（ムラム）等）を輸入する。

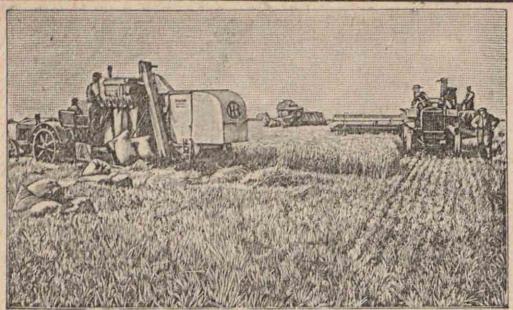
小麥 小麥は白人の常食で、その分布は大體白人の分布と一致し、米の分布よりも廣い。

一般に冷温帶の草原に栽培されるが、乾燥期をもつインドの如き亞熱帶にも栽培され



我農業約集が我が國の植田

麦穀出西、
ノイソ聯
ニアメリカ合衆國の
オーストラリア



穫收の麥小: 法農大の國衆合カリメア

る。ヨーロッパや北アメリカに最も多く、アメリカ合衆國はその產額が世界第一で、カナダ・アルゼンチンなどと共に盛にこれをヨーロッパの西部諸國に輸出する。世界の總產額は約一億二千萬億噸で、米のそれとほぼ相匹敵するが、國際市場に現れるものはその四分之一に當るから、世界的商品としては、米よりも遙かに重要である。

我が國は關東・瀬戸内海沿岸・九州・朝鮮等に產するけれども、近年小麥粉・醬油の原料として需要増加のため、アメリカ合衆國・濠洲から輸入する。

その他の大麥類 大麥は裸麥（ハダカ麦）と共に分布廣く、ロシヤ・ドイツ・アメリカ合衆國・ボーランド等が主產地である。我が國

世界主要國產米額比較表



世界主要國產米額比較表



(縣川香) 麦 程 真 田 編 み

では關東・朝鮮・臺灣に產し、小麥よりも多く產する。ビール・醤油の原料、馬糧に供する外、農家の米の代用品となる。

燕麥(カラスムギ)は北アメリカ・ロシヤ・北西ヨーロッパ等の濕氣の多い

地方に產し、我が國では殆ど北海道に限られる。オートミ

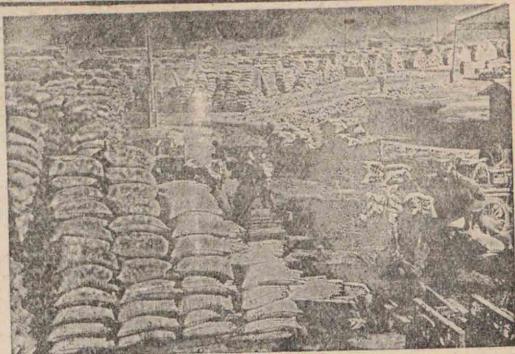
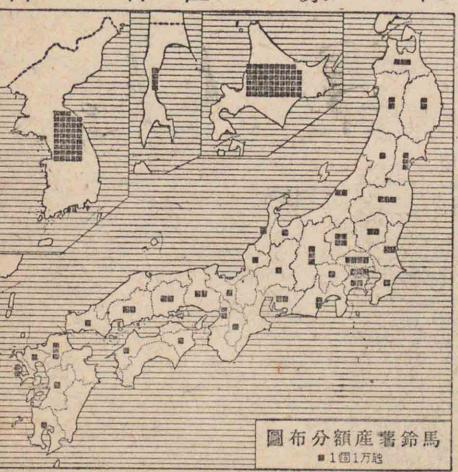
ールとして食用に供し、又飼料に用ひられる。

ライ麥はヨーロッパの特產物であり、東部ヨーロッパに多く、黒パンの原料とし、又飼畜用に供する。

麥類の莖は眞田(マサダ)として、製帽眞田の原料となる。

玉蜀黍と馬鈴薯

玉蜀黍はもと新世界原產のもので、その產額はアメリカ合衆國が世界全產額の六割を產し、歐洲への輸出も少くない。多くは家畜の飼料



(鐵嶺) 满洲大豆の積集

となり、又澱粉・酒精の原料となる。南北アメリカ、アフリカ等では食料にも供する。

馬鈴薯

馬鈴薯はロシヤ・ドイツなどヨーロッパ諸國に最も廣く栽培され、我が國では北海道に多い。

豆 大豆は滿洲國第一の富源で、大豆のまま又は豆油、豆粕として盛に輸出される。直接食用となる外、我が國では豆腐・味噌・醤油等の製造に用ひられる。

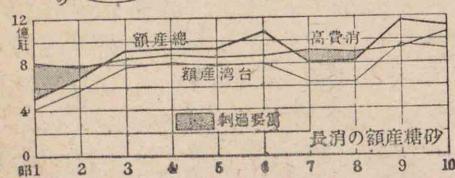
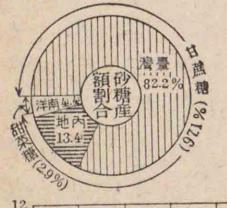
小豆は支那・滿洲・國・我が

國に產し、食料に供される。

砂糖

砂糖のうち、甘蔗

糖は熱帶のインド・キューバ・ハワイ・ブラジル等に多く、我が國では臺灣・南洋群島





(縣岡靜) 茶摘み (Shizuoka Prefecture)

に産し、甜菜糖は冷帶のドイツ・ロシヤ・フランス・アメリカ合衆國等に多く、我が國では北海道・樺太に産する。砂糖の消費は、その國民の生活程度の指數になるともいはれる。我が國は近年砂糖を自給自足しなほ粗糖を輸入して精糖を輸出する。

茶

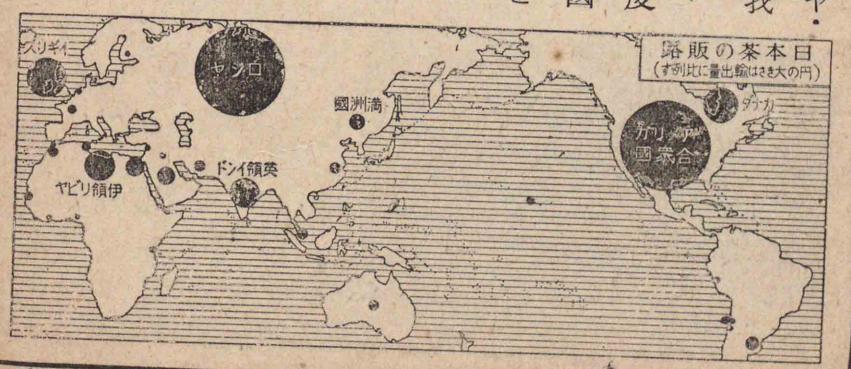
茶は米と同一地方の丘陵地に出る。我が内地産の茶は緑茶で、主にアメリカ合衆國・ロシヤへ輸出される。インド・セイロン・ジャヴァの紅茶は、イギリス・アメリカ合衆國及び濠洲へ輸出される。臺灣には烏龍茶包種茶の產があるが、烏龍茶はアメリカ合衆國へ、包種茶は南洋へ輸出される。南米にはマテ茶が出る。

コーヒー

コーヒーはブラジルその他の熱帶地方の高原丘陵に産し、殊にブラジルは世界總產額の約七割を占めてゐる。主としてアメリカ合衆國及びヨーロッパ諸國で消費され、我が國に於ける消費も年々増加する。

棉花

棉花は熱帶・亞熱帶の產で、その採取期に乾燥する地方を好む。その產額はアメリカ合衆国が世界の六割を占め、インド・ロシヤ・エジプト・支那等にも多い。我が國はアメリカ合衆國・イギリス・インド・支那等と共に、これが主要消費國で、アメリカ合衆國・インド・エジプト等から輸入して綿糸・綿布を製し、内外の需要に充ててゐる。麻類のうち、亞麻は、その纖維用のものはロシヤに最も多く、リンネル・レースに製せられ、種



子用のものはアルゼンチン・アメリカ合衆國・インド等にく、亞麻仁油を製し、リノリウムの原料となる。我が國では北海道に最も多く、又製麻工業が興つてゐる。

大麻はロシヤ・イタリー・ボーランド等に多いが、我が朝鮮や内地にも良質のものを産し、漁網・蚊帳・上布・眞田等の原料になる。



烟 藤 ル 一 サ シ

黃麻はインドの特產で、多く荷造用の袋となる。満洲大豆の袋もこれである。

①
芭名アマニラ麻は本
る蕉バニラといふ
から織維をそ

國へも麻眞田及び紙の原料として輸入される。
シサール麻はフィリピンの特產で、我が國へも麻眞田及び紙の原料として輸入される。

どを製する。

養蠶業

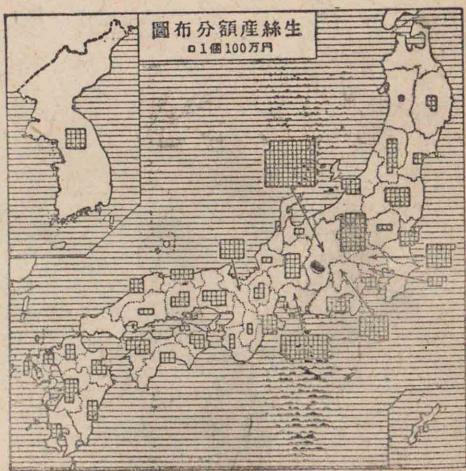
養蠶業は氣候の溫暖

な桑の栽培に適する地方に發達するが、多くの労力を要するから、人口が多く、勞銀が廉くなくては

榮えない。我が國支那・イタ

リーリーに最も盛で、中でも我が國は世界生絲總產額の約七割を產し、その大部をアメリカ合衆國・イギリス・フランス等に輸出する。しかし近年人絹の進出によつて、その世界的市場を著しく侵蝕されたことは惜しい。

林業 南アメリカのアマゾン河流域、アフリカのコンゴー河流域、アジヤ及び北アメリカ北部には天然の大森林がある。林業の盛なのはアメリカ合衆國・カナダ並び



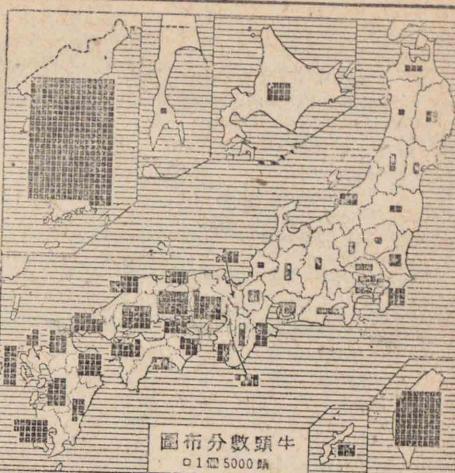
麻 ラ ニ マ ①



探伐の林森るけ於に太樺領邦本
(業作の山冬るけ於に澤入鹽流支川取菱)

に中部及び北部ヨーロッパである。特にドイツの森林はその經營宜しきを得てゐる。ゴム・コプラ・香料等の林産は熱帶地方に多い。

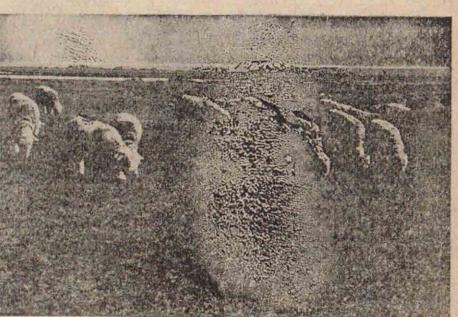
我が國は森林の面積廣く、又樹種にも富んでゐる。臺灣からは樟腦を出す。



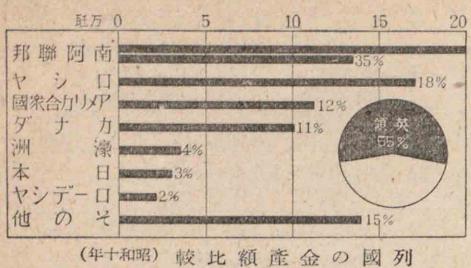
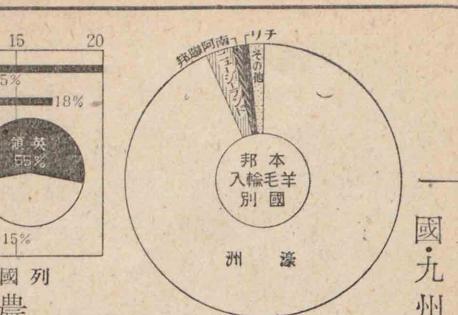
牧畜業 牧畜業は一般に廣い草原を要するから、人口の稀薄な地方か、寡雨で農耕に適しない地方に發達するが、生活上の習慣や宗教上の信仰によつてリカ合衆國・アルゼンチン等に多く、我が國では北海道・奥羽及び九州地方に多い。驢は支那に、驥は南歐・南米に產する。牛はインド・アメリカ合衆国・ブラジル・ロシヤ等に多い。肉と乳及び皮革を供し、白人の需要が多い。インドでは専ら労役に用ひる。我が國では朝鮮中も左右される。白人は概ね肉食し、毛織物を用ひるから、歐米諸國・濠洲・アルゼンチン・南アフリカ等に盛である。中にも馬はロシヤ・アメリカ合衆國・アルゼンチン等に多く、我が國では北海道・奥羽及び九州地方に多い。驢は支那に、驥は南歐・南米に產する。牛はインド・アメリカ合衆国・ブラジル・ロシヤ等に多い。肉と乳及び皮革を供し、白人の需要が多い。インドでは専ら労役に用ひる。我が國では朝鮮中

國・九州・北海道等に多い。羊は濠洲・アメリカ合衆國・ロシヤ・アルゼンチン・南阿聯邦・ニュージーランド・蒙古等に多い。我が國は雨

が多いので、羊の飼養は盛でなく、年々多額の羊毛を濠洲・ニュージーランド・其他から輸入する。



羊牧の古蒙



農家の副業として養鷄が盛になつた。

鑛業 鑛産の分布は多く地質によつて決定されるが、これが需要は文化の程度に關係するから、概して鑛山の開發は文明國に盛で、その未開國に開發されるものも、多くは文明國の資本によつてゐる。石油の如きは、殊に列強の間の利權の争が大きい。金は正貨準備の外、工藝用となる。南阿聯邦に最も多く產し、ロシヤ・アメリカ合衆國・カナダ等がこれに次ぐ。我が國では大

分・茨城・北海道・朝鮮等から出る。

銀は貨幣に鑄造され、又は工藝用とな。

メキシコ・アメリカ合衆國等に多く産し、我が國では日立・足尾・鎌山から出る。



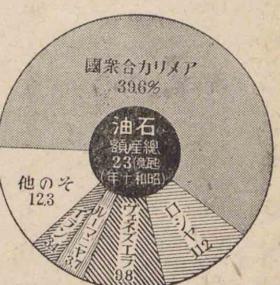
(年十和昭) 較比額產鐵銅・鐵鋼の國列

その用途が廣い。軍需工業にも重要なものである。アメリカ合衆國・チリ・カナダ・南アフリカ・日本等に産する。



石炭は北半球に多く埋藏され、その過半はアメリカ合衆國

にある。これが採掘は文化の程度により、アメリカ合衆國の外、英・獨・露・日・佛等で行はれてゐる。我が國では鎌産中の首位を占め、僅かながら輸出もする。

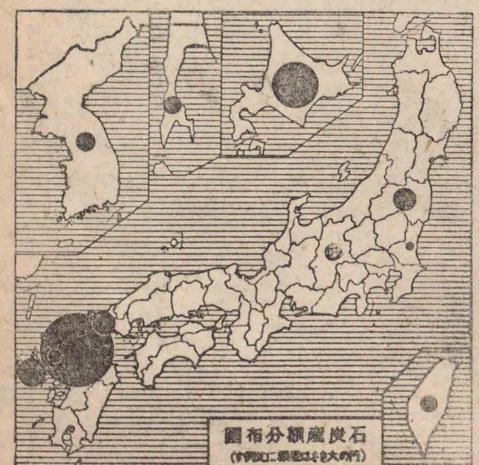


石油は世界總產額の四割はアメリカ合衆國に産し、ロシヤ・ヴェネズエラ・ルーマニヤ・イラン・蘭領東印度・メキシコ等がこれに次ぐ。石油の中、重油は軍艦・商船用、揮發油は自動車・航空機用として益々多く需要されるので、列強は互にその國防上・產業上の必要から油田の開發に熱中し、往々にして政治上の問題を起すことがある。我が國は油田に乏しいので北樺太の油田を探掘したり、撫順



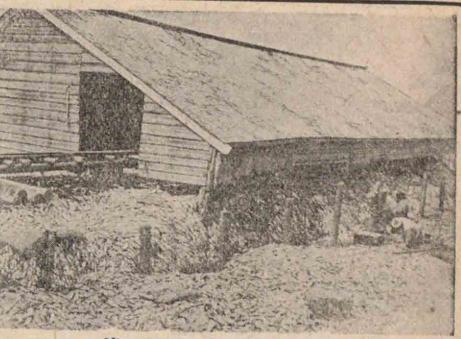
田の油の一ヶ所

たはれ約貢油炭
の六岩貢層
る工%で岩の
業、即上炭
化近含ち層
至が年油油はの
つ行こ量母含石

圖布分額產炭石
(比例尺に表記は大きさの円)

して益々多く需要されるので、列強は互にその國防上・產業上の必要から油田の開發に熱中し、往々にして政治上の問題を起すことがある。我が國は油田に乏しいので北樺太の油田を探掘したり、撫順

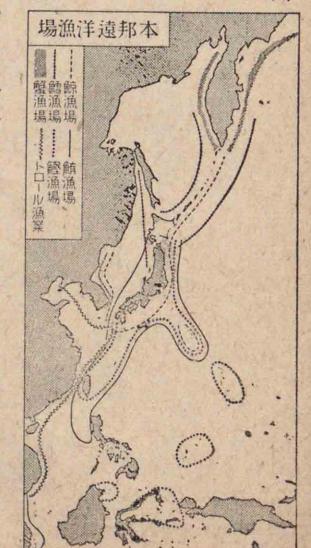
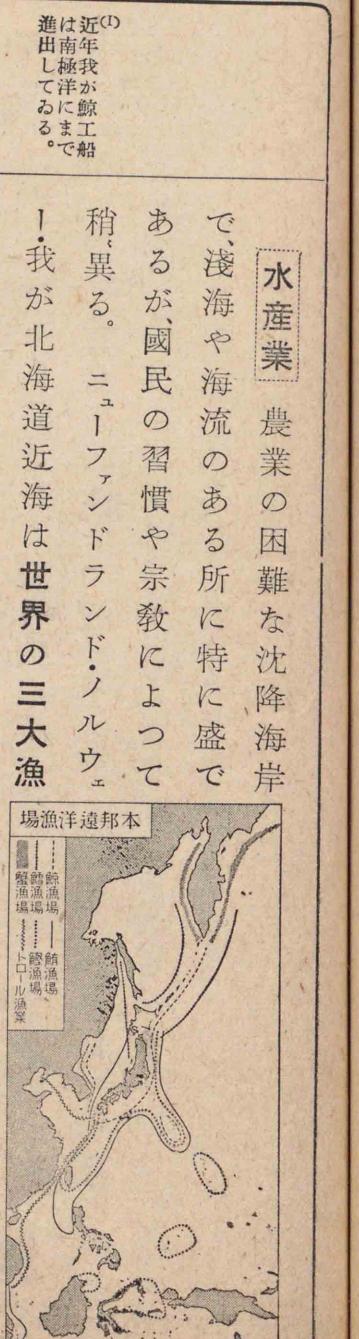
の油母貝岩から採油したりして、なほ莫大な輸入をアメリカ合衆國・蘭領インド等に仰いでゐる。



漁業の太鰯樺

アルミニウムはマグネシウムと共に近時軍需用として缺くべからざるものであるが、製鍊の原料と電力との關係で、アメリカ合衆國・カナダ・ノルウェー・獨・佛等に多く、近年我が國もその原料を輸入して製鍊するやうになつた。錫はマレー地方に多く産するが、我が國は近時需要の八割を輸入に仰ぎ、主としてブリキの鍍金用に供する。

鉛はアメリカ合衆國・濠洲・メキシコ等に多い。水道管・電池の材料となり、又錫・アンチモニーと共に活字の製造に用ひられ、近年は軍需用としても需要が多く、我が國はその九割を輸入する。



水産業 農業の困難な沈降海岸で、浅海や海流のある所に特に盛であるが、國民の習慣や宗教によつて稍異る。ニューファンドランド・ノルウェー・我が北海道近海は世界の三大漁場と稱せられ、ノルウェーのベルゲン、イギリスのハル、ニューファンドランドのセントジョンズ等は漁港として著れてゐる。

我が國も近年おひく漁港としての設備に力を、漁業法の進歩と、沖合漁業より遠洋漁業に進み、漁場は漸次擴大され、漁獲高は世界の二割餘を占めるに至つた。

貴重海獣の捕獲は、もと遠洋漁業者の目的とするところであつたが、これが個人の捕獲を近年國際條約で禁止するに至つた。

淡水漁業も近海魚族の減少と共に漸く發達して來た。

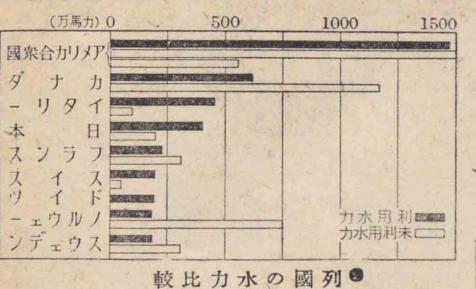
進ヤ我狀く歐
歩はが塵は・先進諸國
が特國に近米諸國
著に及ぶ停頓のシ
し近びるが頗の多
い年ロが頗の多
いのシ、の多

我が國は太古から半漁業國で、魚肉を
重要食料品とし、今日も世界第一の水
産國である。

第七章 産業（その二）

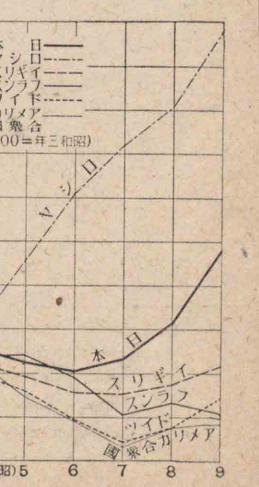
百水萬用け

昭和十年
馬四力力億
七千利七總
二用百利於

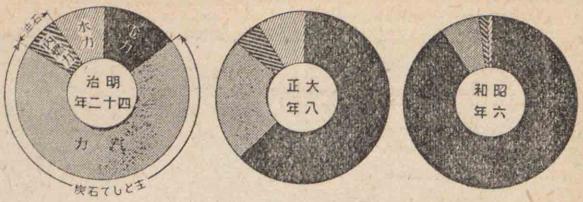


較比力水の國列

工業 工業は一般に文化の發達に伴つて發達するもので、文化の
古い地方には手工業が行はれ、文化の新しい地方には大工業
が興つてゐる。
動力が得易く、人口稠密、交通殊に水運の便利な地方で、地勢
や氣候が好く、原料・資本及び労力に富み、消費地が近いときは
工業が最もよく發達する。又學術の進歩、政府の政策・保護・獎
勵等も工業の發達に大なる關係がある。我が國は近年技術
が大いに進歩し、設備も優秀となり、爲替相場の變動から圓價
が下落し、優良・安價な我が製品は世界市場を脅かしてゐる。



數指產生業工國列



棉花工業は近代に於ける工場工業の魁で、早くイギリスに發達
し、ここに今なほマンチエスターを中心として世界總錘數の約三分
一を占めてゐる。棉花の多いアメリカ合衆國にも發達してゐる
が、その製品は稍劣る。我が國にはその發達が極めて最近ではあ
るが、棉花を消費することに於て既にイギリスを凌ぎ、その製品は
世界の各地に進出してゐる。

絹織物業はその最も盛なのはアメリカ合衆國で、フ
ランスは高級なものを出す。我が國は生絲の產出の
多い割合に絹織物の產額が少い。

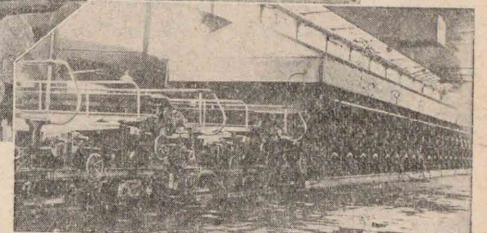
人絹工業は我が國の進歩が最も目覺ましく、アメリ
カ合衆國と共に世界の大生產國である。

アメリカ合衆國は人絹・生絲共に世界第一の消費國で
あつて、その生絲の大部分はこれを我が國に仰ぎ、過半を
靴下にする。パターソンがその中心である。



(年十和昭) 較比額產絲絹造人國列

北海道吉小牧場
と紙工抄紙工場



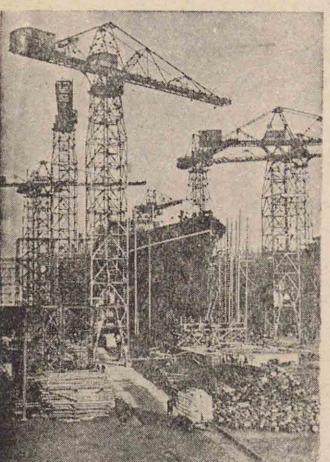
我が國産のバル
プは主として製
紙用であるが、入
絹用

汽車・自動車、中でも自動車の製造は

アメリカ合衆國等の大運河に盛に行はれ、特にイギリスのグラスゴー・ニューカッスルはその大中心である。我が國も近年著しい發達をしてゐる。

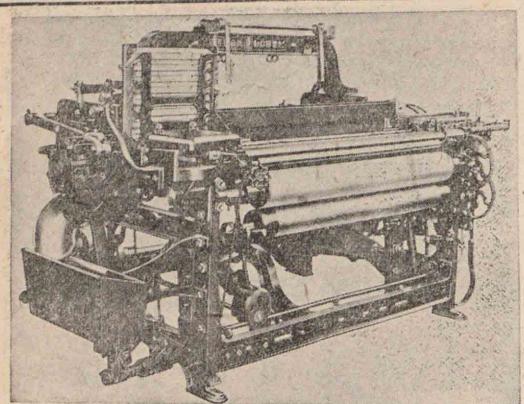
製紙業はアメリカ合衆國・カナダ・ドイツ・イギリス等に盛で、バルブはアメリカ合衆國・カナダ・スウェーデン等に多い。バルブは一般に木材の産の多い地方に産するが製紙業地は必ずしもバルブの大産地とは限らない。バルブは紙及び人造絹絲の原料となる。我が國に輸入されるバルブの中、カナダ産は紙、スカンジナヴィヤ産は人造絹絲に使用される。

造船業は海運業と密接な關係があるので、イギリス・



業船造のスリギイ

日⁽¹⁾
本
洋漁業は主
要な漁業によ
り、鮭・鰯・蟹等
を主に生産する。
英國では、生産額
約5億円ある。



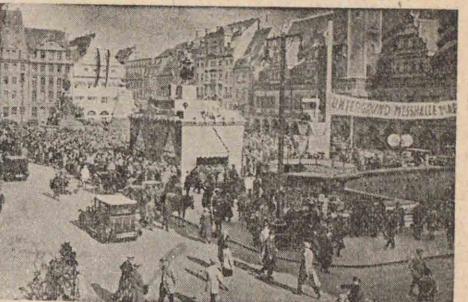
(機械自動車の本) 織機の自動車

アメリカ合衆國に最も盛で、デトロイト其他の大湖沿岸地方を中心とする。最近我が國の自動車も海外へ輸出されるやうになつた。鐵その他金属製鍊業の盛なのはアメリカ合衆國・イギリス・ドイツ等で、イギリスのベン先、ドイツの双物は良質を以て有名である。

アメリカ合衆國・イギリス・ドイツ等は機械器具工業にも優れ、中でも農業機械はアメリカ合衆國群を抜き、學術用機械はドイツ最も秀で、紡績機械は最近我が國が最も優秀で先進國のイギリスにも輸出する。

製粉業はアメリカ合衆國・カナダ等に殊に盛であるが、我が國も近時需要の増加と共に漸く盛となり、滿洲・支那等に輸出するに至つた。

罐詰はその獸肉のものはアメリカ合衆國・アルゼンチン・ブラジル・濠洲、魚肉のものは日本・アメリカ合衆國・ロシヤ、果實のものはアメリカ合衆國に多く産する。

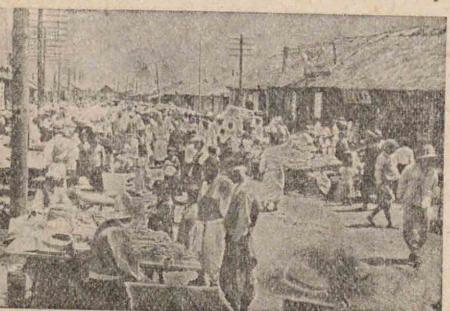


(ツイド)(セツメ)市本見のヒッヂブイラ

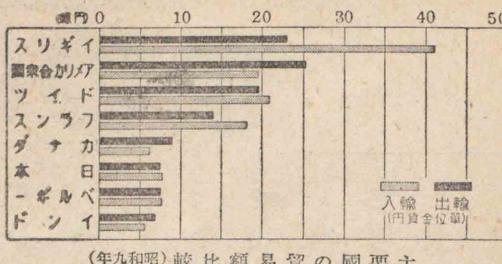
は我が西が洋國地多に古屋の名食器を磁器の主産額戸数は(1)

化學工業中藥品は、醫藥用のものはドイツ・スイスに、工業用のものはドイツ・イギリス・アメリカ合衆國等に產する。
人造染料はドイツ・イギリス・フランス等を主產地とする。
窯業では、ドイツのマイセン製磁器が古來著れ、フランス産は華麗で聞え、イギリス産は堅牢で知られ、その他チエック・スロヴェニヤ・支那⁽¹⁾日本産も名高い。我が國産も古くから著れてゐたが、近年益々大規模に製造され、製品も向上し、多くアメリカ合衆國・南アジヤその他に輸出される。

商業 商業は商品の移動によつて成立つものであるから、交通や産業と相俟つて發達し、關稅政策・貨幣制度等によつても消長する。貿易の盛なのは英・米・獨・佛・オランダ・ベルギー・日本などで、中でもイギリスや我が國は輸入超過國で、原

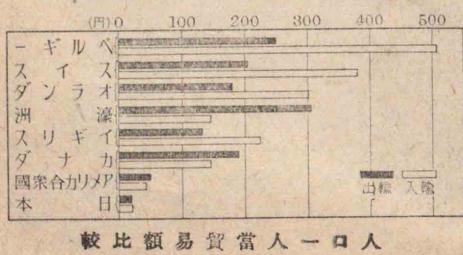
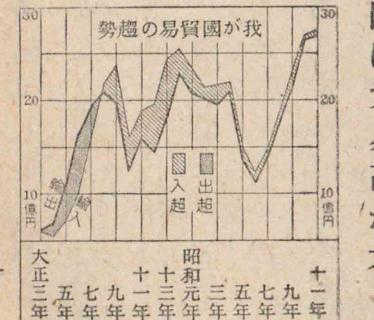


(省島間國洲滿) 場市天露の們圖



料品又は食料品を輸入して加工品を輸出することが著しい。ベルギー・オランダの如きは位置の關係から通過貿易が盛で、人口の割合に貿易が大きい。ウルグアイ・ニュージーランドの如きも資源が單一で、外國貿易の必要が痛切であるから、人口の割合に貿易額が大きい。アメリカ合衆國の如きは外國貿易が國內取引高の十分の一に過ぎない。大國で資源が多種多様なためである。

一般に文化の高い工業國は貿易高が大きく、且つ輸入超過に傾く。我が國は連年輸入超過を示してゐるが、近年貿易外の收入によつてほぼこの入超を補つてゐる。我が國は連年輸入超過に傾く。



最近我が國の貿易額は五十億圓を超えるが、國內工業の發達したため、輸出は全製品が全輸出の五割五分、輸入は原料品が全輸入の六割二分に及んでゐる。

世界の貿易は海運によるものが多いので、ロンドン・ハブルグ・ニューヨーク・リヴァーポール・シンガポール・神戸・マルセイユ・大阪・ブエノスアイレス・横濱等が世界の大貿易都市となつてゐる。

神戸港は棉花の輸入が特に多く、従つてアメリカ合衆國及びインドとの取引が盛で、大阪港は多く綿織物を東洋諸國に輸出し、横濱港は生絲の輸出港としてアメリカ合衆國との取引が多い。この三港で我が國總貿易額の約八割を占めてゐる。

世界大戦後、各國は物資の自給自足を圖り、互に關稅障壁を高くして自國の産業を保護し、外國品の輸入を防禦するに至つた。アメリカ合衆國・ロシヤ等はその廣大な領土と豊富な物資とを擁

- 題問修自
1. 人類の生業を分類せよ。
2. 自由貿易・保護貿易の意義如何。
3. 貿易は何のために行はれるか。
4. 我が國の貿易政策は自由・保護何れであるか。



る大をた我⁽¹⁾
。せ北こが
ん支の國
と等ブは
しにロ最
てもクま

して自國を一つの經濟ブロックとし、イギリスはその多數の植民地を併せ、フランスは南東ヨーロッパの弱小國を糾合し、各、これに對抗した。我が國も近年滿洲國と相携へて共に一つのブロックを樹てた。

第八章 交 通

交通の發達は、その土地の状況と文明の程度とによつて一様でないが、今日では汽車と汽船とが既に世界的となり航空機も漸く重大視されるやうになつた。

交通は産業及び軍事に最も密接



ク ッ ロ ブ 濟 經 界 世

な關係を持つてゐる。

道路

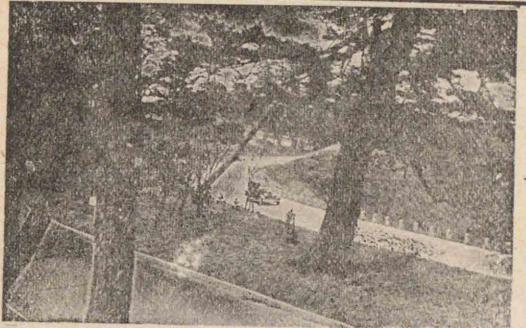
熱帶の未開地、極北の寒地、又は車道等の通じない山間の僻地には、駱駝の如き、馴鹿の如き、犛牛・驢の如き馴獸か、然らざれば擔夫を用ひて踏分路を行くに過ぎないが、文化の進んだ地方では

加工道路・鋪装道路が次第に延長、且つ擴

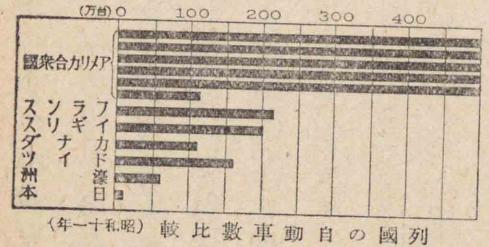
張され、迅速な自動車が馬車・牛車・人車を驅逐してゐる。

世界で自動車の數の最も多いのはアメリカ合衆國である。我が國は地形その他の關係で自動車の發達に不便が多い。

我が國の道路は國道府縣道・市道・町村道の四種に分れ、國道は傾斜三十分の一以下、幅員七・三米以上、府縣道は傾斜二十五分の一以



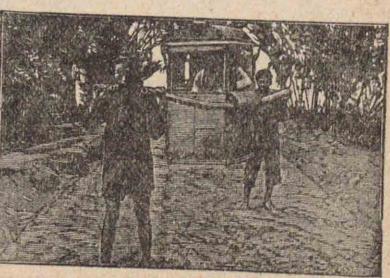
(近附市塙戸) 道海東しりな裝鋪



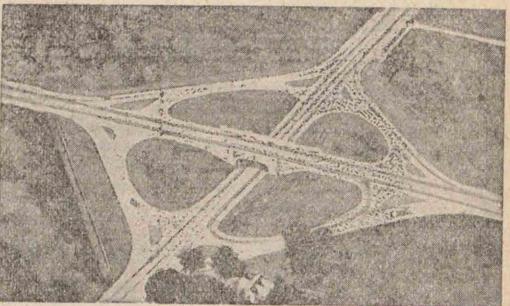
(年一十私昭)

較比數

車動自國列



轎の灣臺



(ツイド) 路車動自の交叉體立

る北東我が
道九近畿國では
網最も密
地が鐵

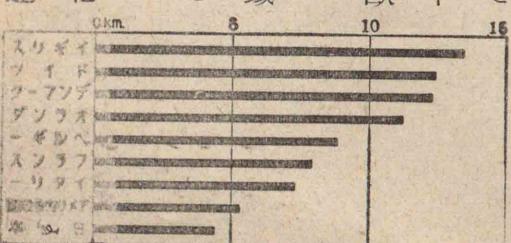
ルギー等の諸國と、アメリカ合衆國の東北部とで、鐵道の延長に於ては、アメリカ合衆國が世界總延長の三分の一をもつてゐる。

大陸横斷鐵道は現在シベリヤにあるものの外、北米にも數條あつて、海路の迂回を避け、東西兩岸の連

下幅員五・五米を標準とし、市道は幅員時に四十四米に達することがある。町村道は一般に幅員が小さい。將來もつと道路の鋪装その他の改良を必要とする。

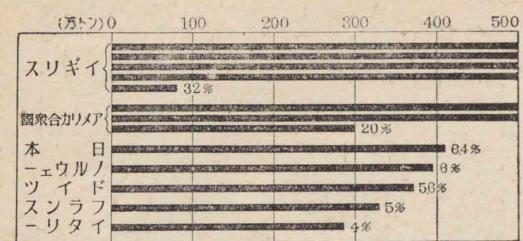
鐵道

鐵道は現在陸上に於ける交通の幹線ともいふべく、その分布が各國の政治・經濟に重要な意義を與へるので、現在その主要都市を中心として發達しているが、鐵道網の最も稠密なのは地形が平坦で、人口の稠密且つ産業の發達した西歐のイギリス・ドイツ・デンマーク・オランダ・ベルギー等の諸國と、アメリカ合衆國の東北部とで、鐵道の延長に於ては、アメリカ合衆國が世界總延長の三分の一をもつてゐる。



(き付に百方) 較比度密道鐵國要主

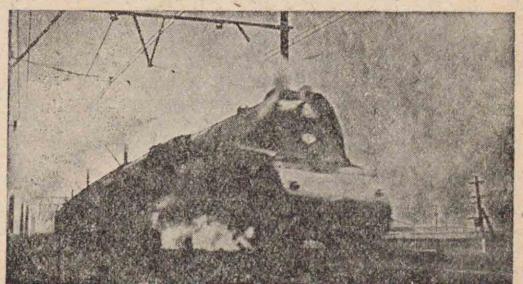
絡を迅速にしてゐる。又交通の頻繁な大都市には高架又は地下の鐵道が敷設されてゐる。



(上以ントチ一,年一十和昭) 較比數ント船舶の國列

我が國の鐵道は國有制度を原則としてゐるが、鐵道の軌間は地形や建設當時の經濟状態等に左右され、朝鮮・満洲では歐・米諸國に普通な一・四三五米の標準制であるが、内地では一・〇七米の狭軌制である。ロシヤは國防上の必要から一・五一米の廣軌制を採用してゐる。又國內に種々の軌間があつて甚だしく交通上の圓滑を缺くは、インド・濠洲等である。

鐵道の交通機關としては電車と汽車とが主で、前者は主として都市及びその近郊に用ひられ、後者は長距離を走るが、近年は次第に鐵道の電化が行はれ、速力及び運搬力を増しつつある。



(線道海東) 車列新最の國が我

るモ龍と速モ
。1田す力1
タ・るなタ
1秩。の1
船父淺を船
で丸間特は
あも・徵快

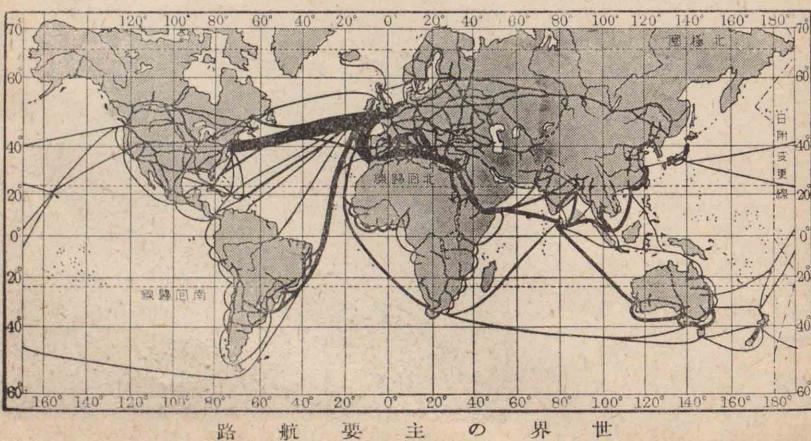
船舶

帆船

帆船は船脚が遅いけれども運賃が安いので、持ちのよい荷物の運搬に利用される。帆船が多いので有名なのはノルウェーである。

汽船は益、大型・高速度のものが造られるやうになつて、最も多く利用されてゐる。最近は燃料として重油が用ひられるやうになり、ディーゼル機関による船も著しくその數を加へた。

現今、世界船舶の總トン数は約六千五百萬トンで、そのうちの五千三百萬トンが汽船、一千百萬トンがモーターボート、一百萬トンが帆船である。イギリスは世界商船總トン数の約三分の一をもつてゐる。我が國の



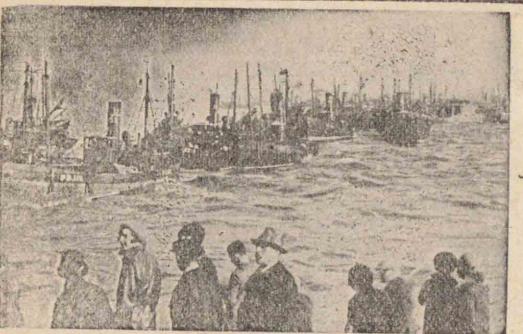
世界主要の航路

海運業は近年の進歩に屬する。

三大洋中、往來の最も頻繁なのは大西洋で、大西洋にはトン數七萬トンを超え、速力三十餘節に達し、四日でこれを横断する汽船がある。

港灣

(スリキノ) 港の温地にあたり、背後が大生産地又は大消費地で、且つこれらとの交通が至便で、氣候の良好なことなどを必要とする。商港としては交通の要地にあたり、背後が大生産地又は大消費地で、且つこれらとの交通が至便で、氣候の良好なことなどを必要とする。又漁港には船溜・網干場・水產加工場・冷藏庫等を必要とする。

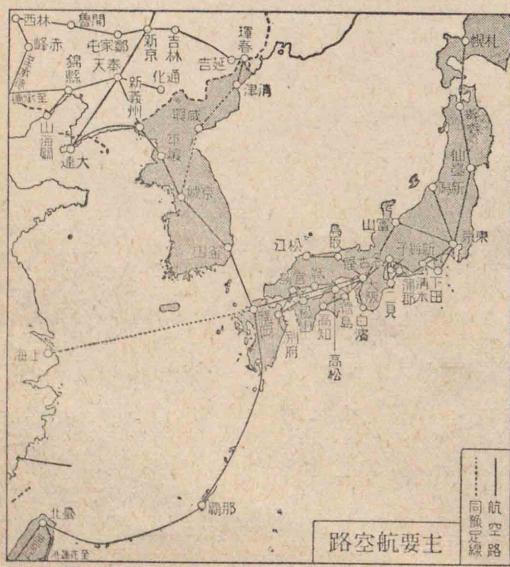


我が國は地勢の關係で漁港に富み、又開港も四十に餘る。けれども交通の發達と產業の統制とによつて次第に各港間の輸出入額の差は著しくなつた。自由港は内地にはない。特別輸出港は臺灣にある。

航空

航空機には飛行機と飛行船とがある。極めて最

近の發達に係るが、快速なので既に世界の各地で旅客や郵便の輸送などに用ひられ、殊に飛行機を主とし、その數はアメリカ合衆國に最も多い。我が國は地勢・氣候その他の關係から航空路の發達が著しく遅れてゐるが、近年次第に擴張され、航空港



も東京・福岡その他に設けられた。

通信 郵便は電信と共に、今や國際的事業となつて世界の各地に普及し、人類文化の發達に著しい貢獻をなしてゐる。

我が國に於ける郵便制度の完備してゐることは、歐・米諸國にも遜色がない。

第三位にある。

我が國から外國に至る海底電線は上海線・香港線・ウラヂウストック線・小笠原線等を主とする。現今世界海底電線の總延長は約六十萬糠であるが、その中の五割はイギリス、二割五分はアメリカ合衆國・ロシヤに次いで世界諸國中

ある。

近年我が國と歐・米・南アジヤ・満洲國・上

海南米等との間に無線電話も開通した。

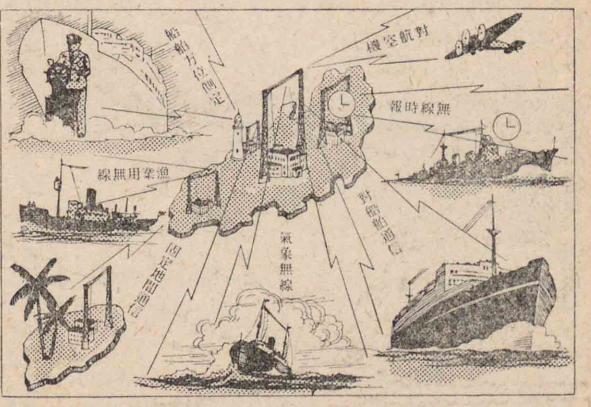
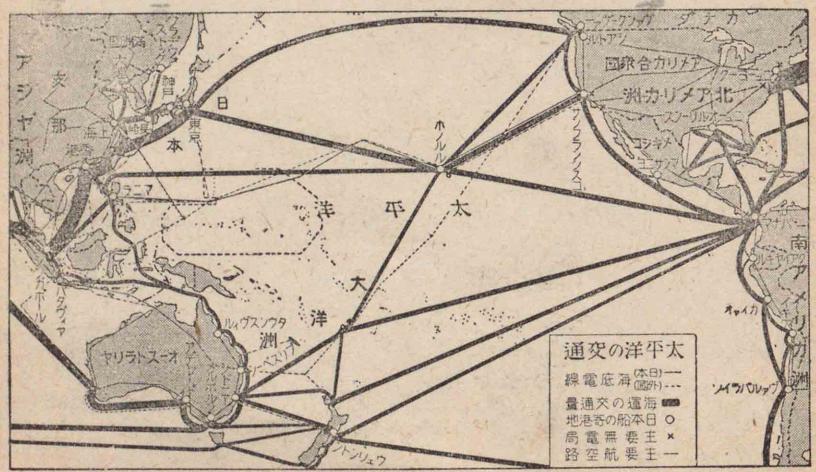
我が國と世界の交通

我が國はかつ

ては極東に孤立した島國であつたが、人類の文化が交通機關の發達に伴つて、河川文明から縁海文明、それから大洋文明にと移り、しかも大洋時代が次第に太平洋時代に進んでゐるし、殊に我が國はその位置がイギリスと同じく大陸と大洋との間に介在してゐるから、この世運に即し、海運を盛にしたならば、産業・經濟なるであらう。又航空機

3.2.1. 交通機關とは何か。
我が國の通信機關の發達如何。
世界の大運河二三を擧げよ。

等と共に交通の中心ともなるであらう。又航空機



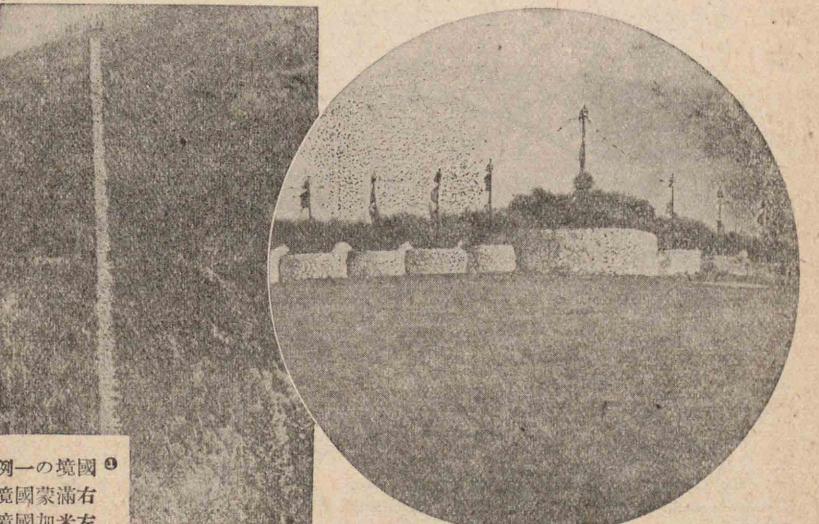
の發達によつて歐米その他との距離の遠近を一變しつつある。

第九章 政 治

國稅要る且のと維國のとすたつ經の持家。兵事費をめ國はそその義役に變をめ國はそその務と故兵に要に力備し數發安ではに力備し數發安あ國納をへ多展事

國家 國家は一定の地域に於ける住民が、共同の目的の下に統一する社會生活を營むやうになつて、成立するもので、未開人の間にはなほ未だ國家をも形成しないものが多存する。しかしその中の二十餘の外は眞の獨立國ではない。

これ等の諸國はそれゞゝ大小の領土と領海とを有し、その間に國境



例一の境國⁽¹⁾
境國蒙右
境國加米左

を劃してゐる。

多境分のあれば河高⁽¹⁾山河⁽²⁾湖⁽³⁾海⁽⁴⁾森林⁽⁵⁾沙⁽⁶⁾漠⁽⁷⁾等が交通を阻害することの多い關係上、

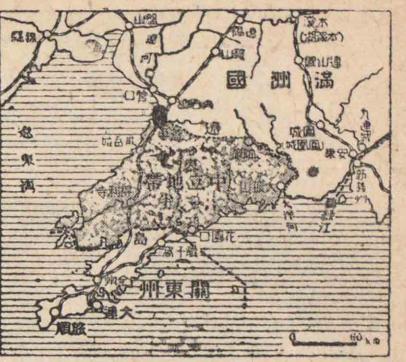
國境は概ねこれ等と一致する。地勢の錯綜したバルカンや中央アメリカに小國が對立し、地勢單調なロシア・ブラジル・支那等が大國となつてゐるのは決して偶然ではない。中歐の如く民族や言語の複雜なところでは、民族又は言語の分布により、民族自決の方法により國境を劃し、紛争を生ずる。チヤコ戰爭は最近の好例である。又蠻族の侵入、惡疫の流行等によつて弛退することもある。文明國の



境國新のヤニマールるよに布分族民⁽⁸⁾

ヴィルガ⁽²⁾の戰⁽¹⁾争⁽³⁾。

る境布境た境⁽¹⁾ヤト年國⁽¹⁾界にはが界⁽²⁾河⁽³⁾山⁽⁴⁾河⁽⁵⁾ま境⁽⁶⁾ル。をよ全⁽⁷⁾に河脈⁽⁸⁾。では⁽⁹⁾無りく現⁽¹⁰⁾等⁽¹¹⁾カは一マ視⁽¹²⁾民今つ⁽¹³⁾のダ⁽¹⁴⁾。ブ⁽¹⁵⁾九ニ天族⁽¹⁶⁾のて天ニ⁽¹⁷⁾バ⁽¹⁸⁾ル。一ヤて然分國⁽¹⁹⁾ぬ然⁽²⁰⁾ユシ⁽²¹⁾二の



中立地帯が獨立
緩衝國といふ

間では國境は主として戦争によつて變更される。紛争の起り易い國境には中立地帯又は緩衝國を設けることがある。

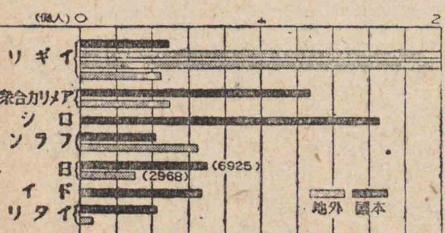
國土と領海 國土はその位置・地勢・風土・大小等によつてその國の富強を致すか否かの一大原因となるが、海面も近代は殆ど陸上と擇ぶところのないまでに利用されるので、通例沿岸から三浬までを領海と定められる。

し、又は砲弾到達距離以内を領海と主張するやうになつた。我が國はこの領海が殊に大きい。

なほ最近は航空機の發達に伴ひ、版圖の上空を領空と稱するやうになつた。

植民地

本國以外の領地を總て植民地と稱し、その住民の文化が發達してゐるので自治を許すものを自治植民地、その住民の文化が進んでゐないので



較比人口のと地外と國本の國要主界

自治を許さないものを直轄植民地といつて區別する。
我が國の外地は、南洋群島及び關東州以外は何れ直轄植民地である。

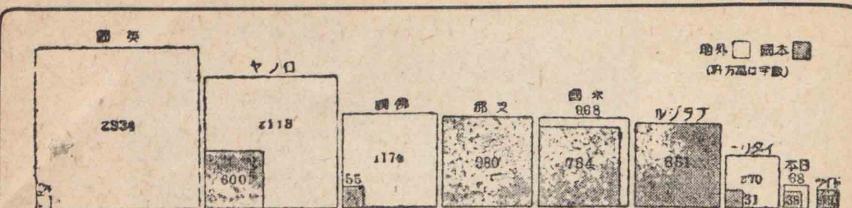
委任統治地・租借地保護地

も植民地に準ずるものであるが、イギリスはその領土の廣大なだけ、これ等の何れをも併有してゐる。

しかし我が國の外地は歐・米の植民地と異り、遠く本國と隔絶せず、人口の關係もあり、外地と呼ばれながら、内地の延長として漸次本国に同化融合してゐる。

又植民地はその本國に對する職能上から、移住植民地・投資植民地等に分つ。我が國の外地は、その氣候か地積か又は人口密度かの關係で、彼のイギリスのカナダや澳洲やニュージーランド等に見るやうな完全な移住植民地でない。臺灣は栽培を主とする投資植民地として稍優れてゐる。

なほ植民地は別に、香港やシンガポールの如き軍港や通商を主



とするものもある。

國民

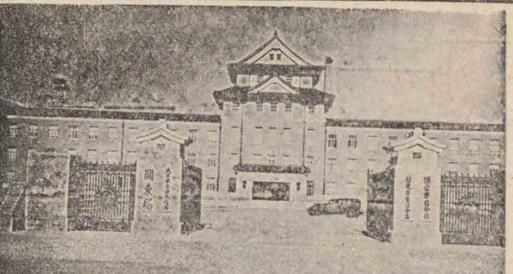
國民は國土と共に國家の重要な要素であつて、國家の人口の多少と、實質の如何が直ちに國家消長の因となる。我が國の如き國民の言語・民族・宗教等がほぼ同じく、歴史・傳統を一にしてゐる場合には國民の結合・統一が最も鞏固である。

國體

國家はその三要素の一つである主權の所在によつて君主國體となり、民主國體となる。この別は、多くはその國の歴史によつて生じたもので、又君主の權力に著しい相違がある。我が國の如く國民が一大家族の如く、皇室を中心として鞏國な集團をなしてゐる國は、他にその例がない。殊に我が國の憲法は所謂欽定憲法で、議會政治も殆ど模範的に行はれてゐる。

國際關係

我が國の世界に於ける條約國は四十餘を數へ、これ等の諸國と互に和親・通商を約し、外交官を交換してゐる。近年國際



駐 满 帝 國 大 使 館

グダニスは務。ゴヤ兼¹使ス。*下
アフ公。ボ。ス公²。館ウ。大表
イイ使アリチラ使。デノノ³。使使派
兼及館ル。ソルマ⁴。ルン⁵。派遣國
務びはゼイ。イ公。イハユマ⁶。ウン⁷。公
ルラチ兼館兼⁸。ニタ⁹。公

間の情勢は大
いに變化し、世
界大戰直後に
生れた國際聯
盟はこの大勢
に適しなくな
り、我が國を始
め獨伊兩國もこれを脱退した。然し、我が國は世界平和を希ひ、東亞の安定を確保せんとする國是に邁進し、獨伊兩國と防共協定を結んで世界を共産主義の魔手から救はんとしてゐる。東亞に於ては満洲國と防守同盟を結び、支那事變の起るや、聖戰を北中南支の野に進め、隣邦を平和の樂土たらしめんと努力しつつある。

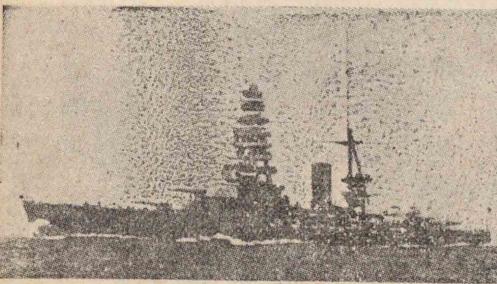
我
が
重
歩
が
る
陸
軍
の
兵
種
輜
は
歩
騎
航
工
軍
の
兵
輜

國 約 條 が 戰	
*支那	*滿洲國
○スウェーデン	○ノルウェー
○フランス	○ボルトガル
○スペイン	○パラグアイ
○ギリシャ	○ウルグアイ
○アルゼンチン	○チリ
○ブルガリア	○ボリビヤ
○ルーマニア	○ペルー
○ギリシャ	○アルゼンチン
○ブルガリア	○エクアドル
○ルーマニア	○コロンビヤ
○アルゼンチン	○エジプト
○ペルー	○リベリヤ
○エクアドル	○コロナ合衆國
○コロナ合衆國	○アメリカ合衆國
○メキシコ	○オランダ
○スイス	○ベルギー
○オーストリア	○ハンガリー
○オーストリア	○オランダ
○ラトヴィヤ	○スイス
○エストニア	○ラトヴィヤ
○トルコ	○イタリヤ
○トルコ	○オーストリア
○トラン	○オーストリア
○トラン	○スウェーデン
○イラン(ペルシャ)	○ノルウェー
○イラン(ペルシャ)	○デンマーク
○イラン(ペルシャ)	○ボーランド
○イラン(ペルシャ)	○トルコ
○イラン(ペルシャ)	○アフガニスタン
○イラン(ペルシャ)	○シヤム
○イラン(ペルシャ)	○支那

軍備 軍備は平時と雖も、一國の外交・貿易等の背景として頗る大きな役目を演ずるもので、その陸軍と海軍と何れを主とするかにつ

いては國狀によつて異なる。我が國の陸・海・軍は共に精銳の譽が高く、空軍も近年整備し、支那事變に於ては陸・海・空軍相並んで威力を發揮した。

財政

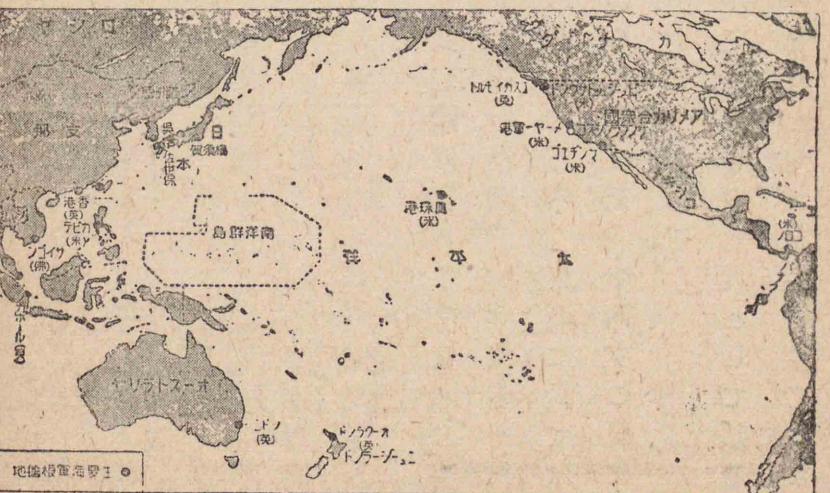


奥陸…銳精の軍海が我
(清閏省軍艦日一十月二十年五十和昭)

國家はその軍事・教育・交通など諸種の經營に要する経費を租稅に仰ぎ、且つ鐵道・郵便・電信その他

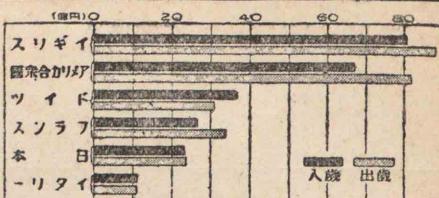
の官營事業の收入を以てこれに充て、なほ

足らぬ場合に



地圖根軍海の國要主るけ於に洋平太

行各國内
委を國する
任置とある
の金融
事務銀は調
査する事
中央に調
査する事



(年一十和昭) 較比入出歳の國要主界世

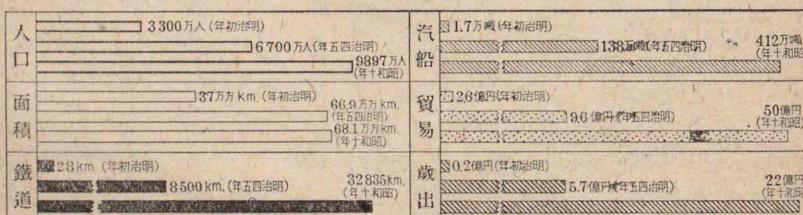
題問修自

5. 4. 3. 2. 1. 國家の版圖とは何か。
國境の定め方を説け。
租借地とは何か。
條約國・無條約國の意義如何。
國家の強弱は何を基として定むべきか。

は國債を起す。我が國の歲出入は明治二十年には各僅か八千萬圓に過ぎなかつたが、今やその三十五、六倍に上り、國債額は既に百億圓に達する。

第十章 世界に於ける我が國の地位

我が國は山水が秀麗で、寒・暖の中和を得、天產の多様なことに於ては多くその比を他に見ないのである。殊に萬國無比の國體を擁し、國民が古來よく一致して、愛國・進取の氣風を發揮し、國際の平和を専め、今や世界最强國の一に數へ



歩進の國が我るけ於に近最

られるやうになつた。のみならず工業國・商業國としての最近の發達は誠に著しく、我が國產品が到る處の市場を風靡してゐる有様である。けれども我が國の國勢を他の諸強國に比べると人口の割合に國土が狭く、天然の資源にも乏しいため、なほ幾多遺憾の點があり、貿易は諸外國の保護政策によつて著しく阻害されてゐる。

殊に又輓近交通が進歩し、極東の歐・米と著しく接近した結果、歐米の諸勢力が益々滔々として極東方面に傾注するに至つた。我が國も國運益々多事といはなければならぬ。

故に我が國民たるもののは、この時に際し、よく世界の趨勢を察し、帝國の地理的位置に鑑み、奮勵努力、常に協同一致し、益々産業を興し、國力を充實し、以て世界の眞の平和と人類の正しい幸福とを増進すると共に、期して我が彌榮の國たるの實を擧げなければならぬ。

(終)

(略名) 富山小川女概説

新制地理概説 女學校用

定價 金六拾八錢

小 川 琢 治

昭和十二年七月七日初版印刷
昭和十三年一月十五日訂正再版發行
昭和十六年二月五日訂正三版印刷
昭和十六年二月一日訂正三版發行



著作者

小 川 琢 治

發 行 者

東京市麹町區飯田町二丁目二十番地

中等學校教科書株式會社

代表者 山本慶治

印 刷 者

東京市京橋區木挽町三丁目十一番地

(東東八一七) 新井修平

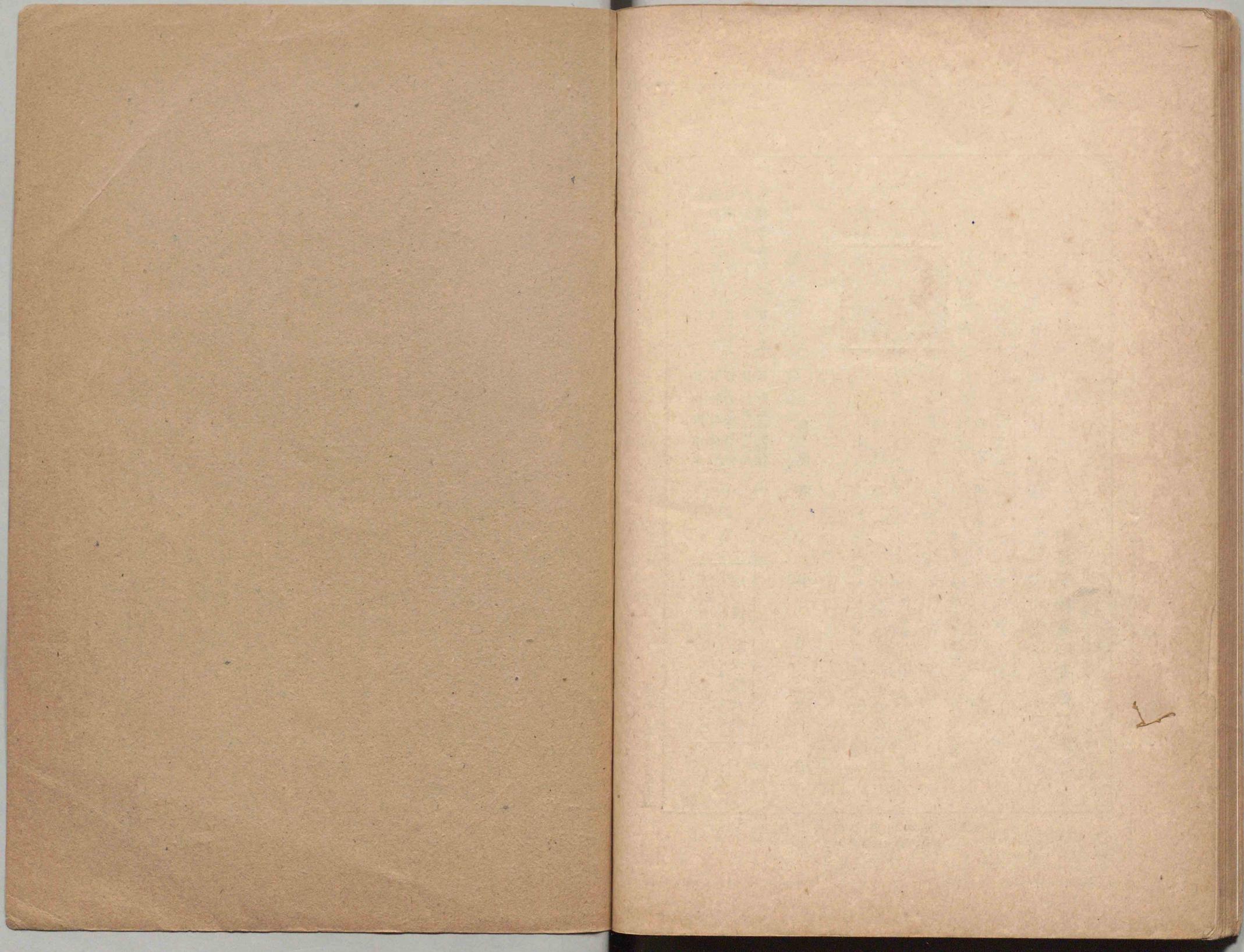
東京市麹町區飯田町二丁目二十番地

日本出版文化協會員番號一一七五二二

中等學校教科書株式會社

發 行 所

配給元 日本出版配給株式會社
東京市神田區淡路町2ノ9



広島大学図書

2000021676

